

EPSON

取扱説明書

Offirio
オフィリオ プロジェクター

EMP-S4



安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を示しています。
 ポイント	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。  p.64
	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
[(表記名)]	リモコン、またはプロジェクター本体の操作パネルのボタン名称を示しています。 例: [戻る]ボタン
「 (メニュー名) 」	環境設定メニューの項目を示しています。 例: 「画質調整」→「明るさ」

「本機」または「本プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに同梱品や別売品も含まれる場合があります。

本機の特長	4
各部の名称と働き	5
前面/上面	5
本体操作パネル	6
背面	7
底面	8
リモコン	9

調整と映像の切り替え

画質を調整する	11
コンピュータ映像やRGBビデオ映像を調整する	11
映り具合を選ぶ(カラーモード)	14
投写位置を調整する(デジタル ピクチャシフト)	15
音量を調整する	16
投写映像を切り替える(入力検出)	17
入力信号を自動検出して切り替える(入力検出)	17
リモコンでダイレクトに切り替える	17

便利な機能

投写を効果的にする機能	19
映像と音声を一時的に消す(A/Vミュート)	19
映像を停止させる(静止)	19
アスペクト比を切り替える(リサイズ)	20
ポインタを表示する(ポインタ)	20
映像を部分的に拡大する(Eズーム)	21
リモコンでマウスポインタを操作する(ワイヤレスマウス)	22
セキュリティ機能	24
利用者を管理する(パスワードプロテクト)	24
操作ボタンをロックする(操作ボタンロック)	26

環境設定メニュー

環境設定メニューの操作	29
機能一覧	30
画質調整メニュー	30
映像メニュー	31
設定メニュー	32
拡張設定メニュー	33
情報メニュー	35
初期化メニュー	36

困ったときに

ヘルプの見方	38
故障かなと思ったら	39
インジケータの見方	39
インジケータを見てもわからないとき	42



付 録

本機の設定	51
設置方法.....	51
お手入れの方法	52
各部の掃除.....	52
消耗品の交換.....	53
ユーザーロゴの登録	59
外部モニターで投写映像を確認する(モニター出力)	61
オプション品・消耗品一覧	62
スクリーンサイズと投写距離.....	63
用語解説	64
ESC/VP21コマンド一覧.....	66
コマンドリスト	66
ケーブル配線.....	66
USB通信の準備	67
対応解像度一覧	68
仕様一覧.....	69
外形寸法図	71
索引	72
お問い合わせ先	75



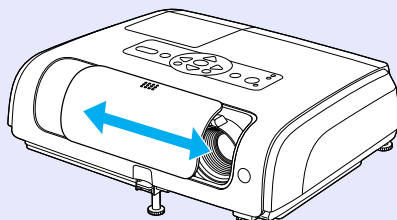
ダイレクトに電源オン&クールダウン不要ですばやく片付け

電源コードをコンセントに差し込むだけで投写が開始されるダイレクトパワーオン機能を搭載しました。☞p.34
また、電源を切ったあとすぐに電源コードを抜くことができ、片付けがすばやく行えます。

使いやすさ

■ 投写や収納が簡単なスライド式レンズカバー

シャッターを開閉して投写の中断・再開が簡単にできるため、メリハリのあるプレゼンテーションが行えます。

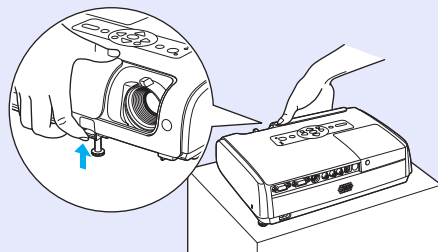


■ 開始・終了をわかりやすく音でお知らせ

電源をオンにすると「ピッ」、クールダウンが終了すると「ピッピッ」と鳴ります。「ピッピッ」と鳴ったら電源コードを抜くことができます。

■ 面倒な本体の水平調整が不要な単脚デザイン

片手で簡単に高さ調整ができます。☞『セットアップガイド』

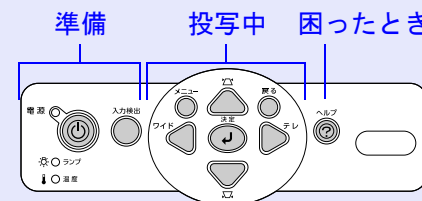


■ 日本語でわかりやすい本体・リモコン表記

ボタンや端子名を日本語表記し、誰でも簡単に操作できるようにしました。

■ 大きなボタンで使いやすい操作パネル

投写機能と調整機能別にボタンを分類し、使いやすく配置しました。☞p.6

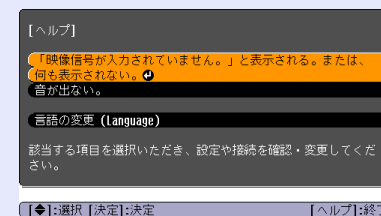


■ 投写映像を簡単に選択できる入力検出

「入力検出」ボタンを押すだけで、接続している映像信号を自動的に検出して投写します。

■ 対話形式で問題解決ができるヘルプ

質問に答えていくと投写時のトラブルを解決することができます。☞p.38



カラーモード

「フォト」、「プレゼンテーション」、「ゲーム」など、使用シーンに合わせて登録されたモードを選択するだけで、最適な色調で映像を楽しむことができます。☞p.14

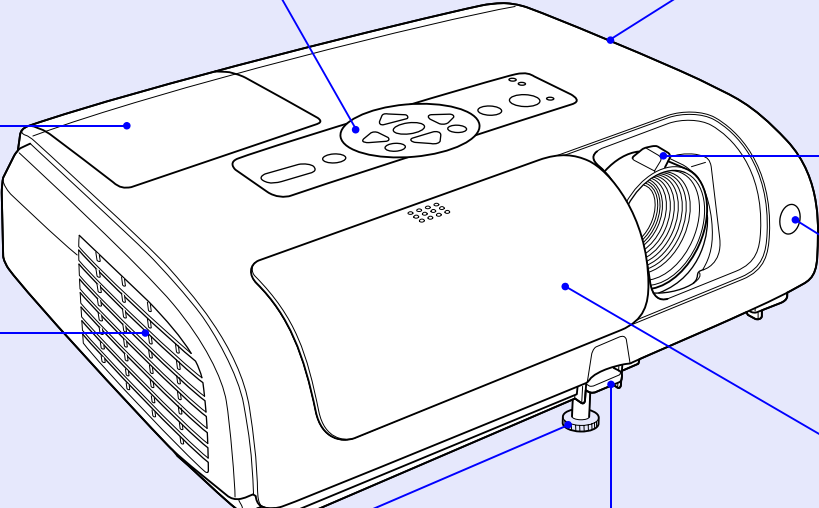
セキュリティ機能

■ 利用者を管理するパスワードプロテクト

パスワードを設定して、プロジェクターの使用を制限することができます。☞p.24

■ 電源ボタン以外の本体のボタン操作を無効にする操作ボタンロック
イベントや学校などで使用する場合に、いたずらや設定変更されるのを防止できます。☞p.26

前面/上面

- 
- 本体操作パネル (p.6)
 - ランプカバー (p.55)
ランプの交換時にこのカバーを開けて、中のランプを交換します。
 - 排気口
⚠ 注意
投写中は、排気口の付近に、熱で変形したり、悪影響を受けるものを置いたり、手や顔を近づけたりしないでください。
 - フロントフット (『セットアップガイド』)
机上などに置いて使う場合に、投写角度を調整するときに伸ばします。上方向に最大10°まで傾けられます。
 - フットレバー (『セットアップガイド』)
フットレバーを引いて、フロントフットを伸縮させます。
 - 盗難防止用ロック (p.65)
 - フォーカスリング (『セットアップガイド』)
投写映像のピントを合わせます。
 - リモコン受光部 (『セットアップガイド』)
リモコン信号を受信します。
 - スライド式レンズカバー (『セットアップガイド』)
プロジェクターを使用しないときに、スライドさせて閉じ、レンズを保護します。投写中に閉めると、映像と音声を消すことができます(A/Vミュート)。A/Vミュートになっても本機の電源は入ったままです。電源の切り忘れに注意してください。スリープモードをオンに設定すると、A/Vミュートの状態で約30分経つと自動的に電源が切れます。お買い上げ時にはスリープモードはオフになっています。

本体操作パネル

●[メニュー]ボタン p.29

環境設定メニューを表示/終了します。

●[電源]ボタン

『セットアップガイド』

電源をオン/オフします。

●状態インジケータ

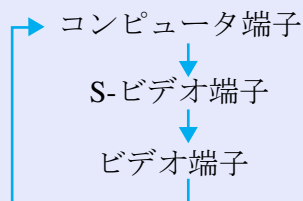
 p.39

本機の状態を色や点灯・点滅で示します。

●[入力検出]ボタン

 p.17

入力ソースを自動的に次の順番で検索し、信号が入力されている機器の映像を投写します。



●[決定]ボタン p.11, 29

コンピュータのアナログRGB映像やRGBビデオ映像を自動調整し、最適化します。
環境設定メニューやヘルプが表示されているときは、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。

●[戻る]ボタン p.29

実行中の機能を終了します。環境設定メニュー表示時には1つ上の階層に戻ります。

●[ヘルプ]ボタン p.38

トラブルが起こった場合の対処方法を示すヘルプを表示/終了します。

●[ワイド][テレ]ボタン

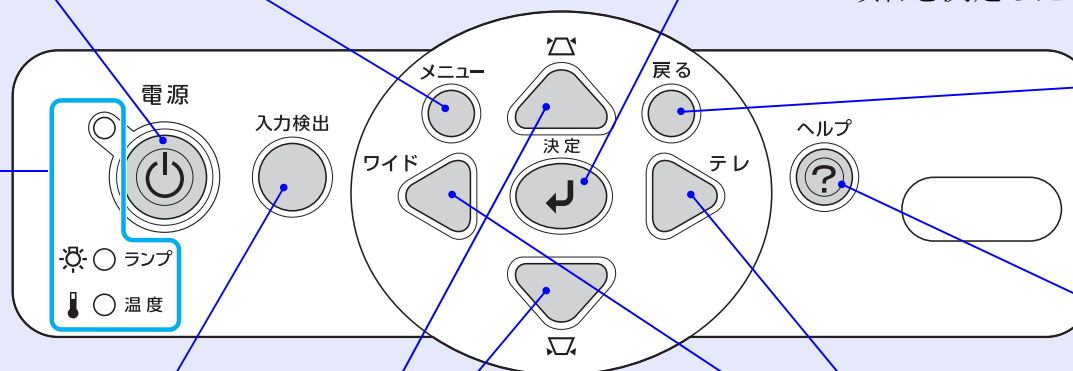
『セットアップガイド』, p.29

投写映像のサイズを調整します。環境設定メニューやヘルプが表示されているときは、メニュー項目や設定値を選択します。

●[▽][△]ボタン

『セットアップガイド』, p.29

台形補正するときに押します。
環境設定メニューやヘルプが表示されているときは、メニュー項目や設定値を選択します。



背面

●モニター出力端子 (☞p.61)

コンピュータ端子に接続して投写しているコンピュータのアナログRGB映像やRGBビデオ映像の信号を外部モニターに出力します。ビデオ機器の信号には対応していません。

●電源端子

☞『セットアップガイド』

電源ケーブルを接続します。

●コンピュータ端子

☞『セットアップガイド』

コンピュータのアナログRGB映像信号やビデオ機器のRGBビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を入力します。

●USB端子 (☞p.22, 66)

ワイヤレスマウス機能時に、USBケーブルでコンピュータと接続します。USBケーブルでコンピュータと接続しても、コンピュータの映像を投写することはできません。

●リモコン受光部

☞『セットアップガイド』

リモコン信号を受信します。

●スピーカ

●リアフット

●S-ビデオ端子

☞『セットアップガイド』

ビデオ機器のS-ビデオ信号を入力します。

●ビデオ端子

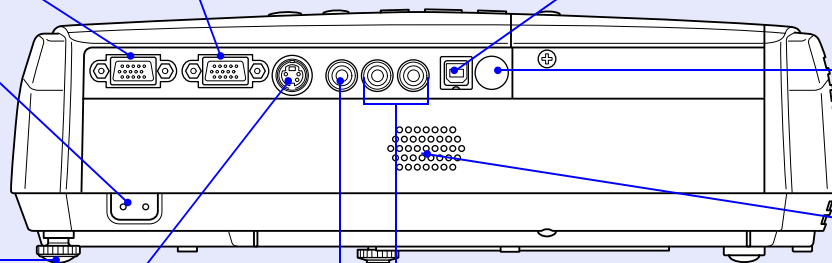
☞『セットアップガイド』

ビデオ機器のコンポジットビデオ信号を入力します。

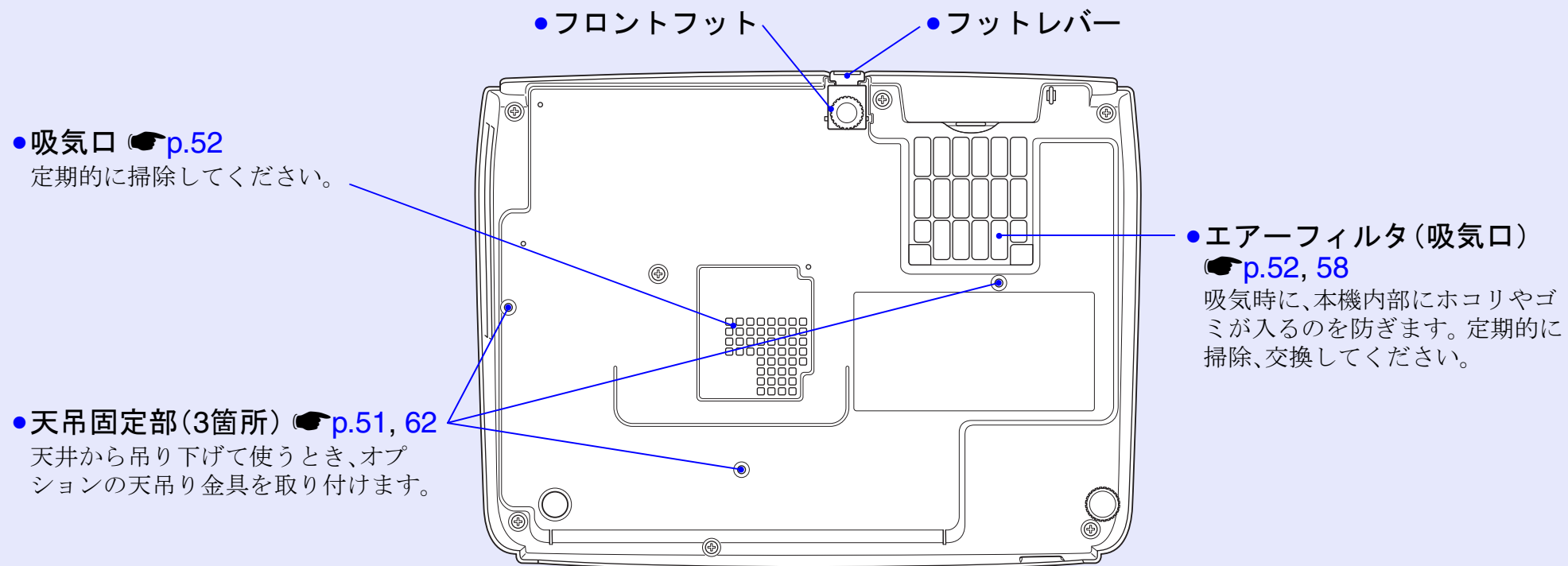
●音声入力端子

☞『セットアップガイド』

接続した機器の音声信号を入力します。コンピュータとビデオ共通の入力端子のため、複数の機器を接続する場合は、ケーブルを抜き差しするか、音声セレクトをお使いください。



底面



リモコン

ボタン名またはボタンアイコンに  を重ねるとボタンの説明が表示されます。

- [ページ送り][ページ戻し]ボタン  p.23
- [Eズーム] ボタン(+) (-)  p.21
- [決定] ボタン  p.23, 29
- [戻る] ボタン  p.23, 29
- [ポインタ] ボタン  p.20
- [A/Vミュート] ボタン  p.19
- [コンピュータ] ボタン  p.17
- [S-ビデオ] ボタン  p.17
- [ビデオ] ボタン  p.17
- [自動調整] ボタン  p.11



- リモコン発光部  『セットアップガイド』
- [電源] ボタン  『セットアップガイド』
- [] ボタン  p.23, 29
- [静止] ボタン  p.19
- [数字] ボタン  p.24
- [カラーモード] ボタン  p.14
- [メニュー] ボタン  p.29
- [リサイズ] ボタン  p.20
- [ヘルプ] ボタン  p.38
- [音量] ボタン  p.16
- [入力検出] ボタン  p.17
- テンキーボタン  p.24

調整と映像の切り替え

ここでは、カラーモード選択など、画質や音量の調整方法と映像を切り替える方法について説明しています。

画質を調整する	11
• コンピュータ映像やRGBビデオ映像を調整する	11
• 自動調整機能	11
• トラッキングの調整	11
• 同期の調整	12
• 映り具合を選ぶ(カラーモード)	14
投写位置を調整する(デジタル ピクチャシフト)	15
音量を調整する	16
投写映像を切り替える(入力検出)	17
• 入力信号を自動検出して切り替える(入力検出)	17
• リモコンでダイレクトに切り替える	17

コンピュータ映像やRGBビデオ映像を調整する

自動調整機能

接続されたコンピュータのアナログRGB映像やRGBビデオ映像の信号を判断し、映像を最適な状態に自動的に調整します。

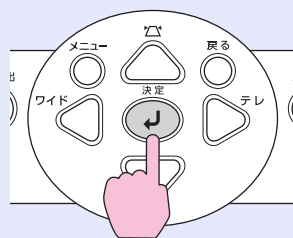
自動調整で調整されるのは、[トラッキング](#)、表示位置、[同期 \(Sync.\)](#)の3項目です。

環境設定メニューの「映像」→「自動調整」を「オフ」に設定している場合は、自動調整機能は働きません。この場合は、コンピュータやRGBビデオの映像を投写中に、リモコンの[自動調整]ボタン、または本体の[決定]ボタンを押して、調整を行います。

リモコンの場合

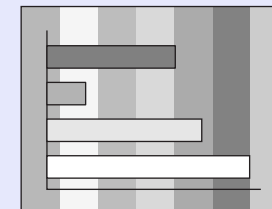


本体の場合



トラッキングの調整

自動調整を行っても、コンピュータやRGBビデオの映像に縦の縞模様が出て調整しきれない場合は、次のように個別に[トラッキング](#)の調整を行います。



操作

1

環境設定メニューから「映像」→「トラッキング」を選びます。

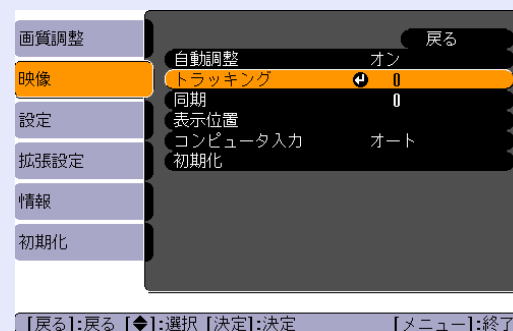
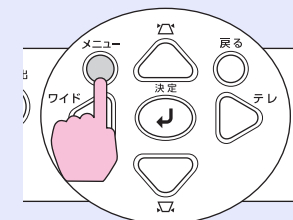
操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。[p.29](#)

使えるボタンと操作は画面下に表示されるガイドでご確認ください。

リモコンの場合



本体の場合



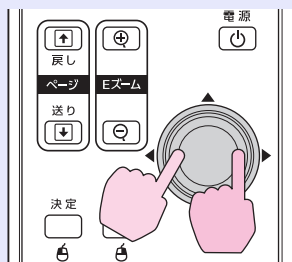
ポイント

- Eズーム機能や静止機能などを実行しているときにリモコンの[自動調整]ボタン、または本体の[決定]ボタンを押すと、実行している機能を解除してから調整します。
- コンピュータやRGBビデオが出力している信号によっては、うまく調整できない場合があります。そのような場合は、環境設定メニューで、トラッキングと同期をそれぞれ調整してください。[p.12](#)

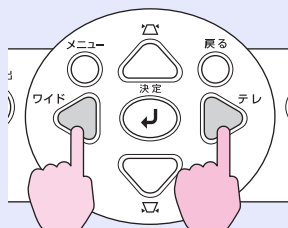
- 2 映像の縦の縞模様が消えるようにトラッキングの値を設定します。



リモコンの場合



本体の場合



ボタンを押すたびに、トラッキングの値が増減します。

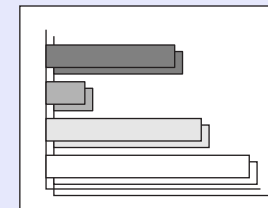
- 3 [メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。



連続してトラッキングを調整すると、投写映像が点滅しますが、故障ではありません。

同期の調整

自動調整を行っても、コンピュータやRGBビデオの映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出て調整しきれない場合は、次のように個別に同期調整を行います。



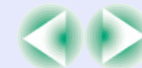
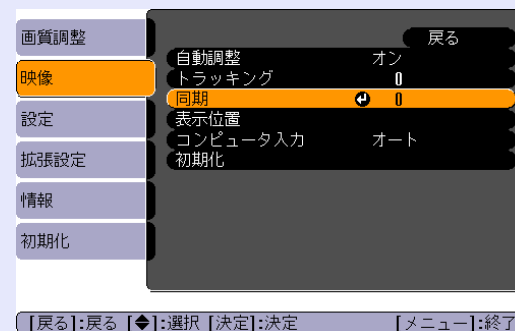
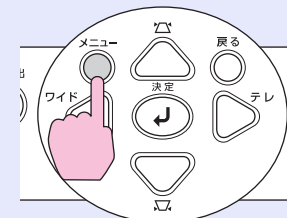
操作

- 1 環境設定メニューから「映像」→「同期」を選びます。
 操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。
 使えるボタンと操作は画面下に表示されるガイドでご確認ください。

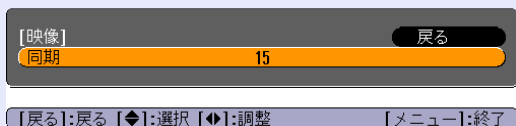
リモコンの場合



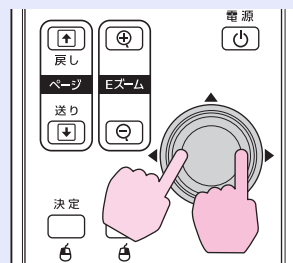
本体の場合



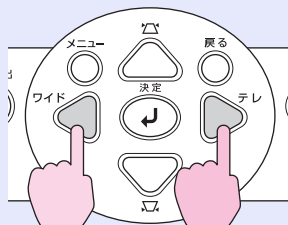
- ② 映像のちらつき、ぼやけ、横ノイズが消えるように同期の値を設定します。



リモコンの場合



本体の場合



ボタンを押すたびに、同期の値が増減します。

- ③ [メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。



ポイント

- **トラッキング** を合わせてから同期を調整しないと、完全には調整できません。トラッキングのずれは、表示している画面によっては目立たない場合があります。縦線や網点の多い画面では目立ちやすくなりますので、トラッキングのずれを確認してください。
- ちらつき、ぼやけは、明るさや**コントラスト**、シャープネス、台形補正、ズームの調整で起こることもあります。



映り具合を選ぶ(カラーモード)

映像の特徴に合わせた次の7種類の設定があらかじめ記録されています。投写映像に応じて選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが異なります。

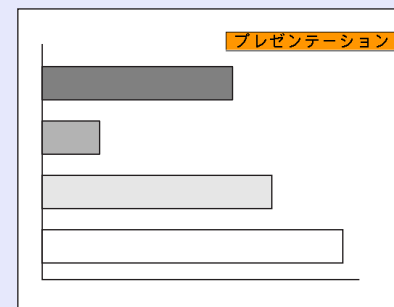
モード名	使い方
フォト	(コンピュータ、RGBビデオ映像入力時のみ) 鮮やかで、コントラストのある映像になります。明るい部屋で、写真などの静止画像を投写するのに最適です。
スポーツ	(コンポーネントビデオ、S-ビデオ、コンポジットビデオ映像入力時のみ) 鮮やかで、臨場感のある映像になります。明るい部屋で、テレビ番組などを楽しむのに最適です。
プレゼンテーション	明るい部屋で、プレゼンテーションを行うのに最適です。
シアター	自然な色合いの映像になります。暗い部屋で、映画を楽しむのに最適です。
ゲーム	暗部の階調表現に優れています。明るい部屋で、テレビゲームを楽しむのに最適です。
<u>sRGB</u> ▶▶	sRGBに準拠した映像になります。
黒板	黒板(緑色)に投写しても、スクリーンに投写したときのような自然な色合いの映像になります。

操作

リモコン



ボタンを押すたびに画面上にカラーモード名が表示され、モードが切り替わります。



画面上にカラーモード名が表示されている間にボタンを押すと、次のカラーモードに切り替わります。



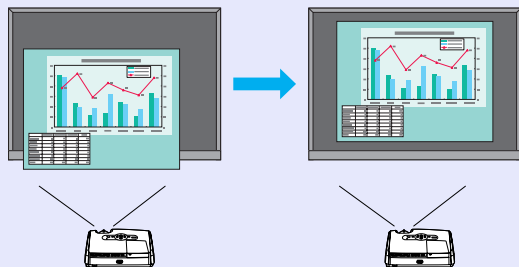
環境設定メニューの「画質調整」→「カラーモード」からも設定できます。▶▶ p.30

投写位置を調整する(デジタル ピクチャシフト)



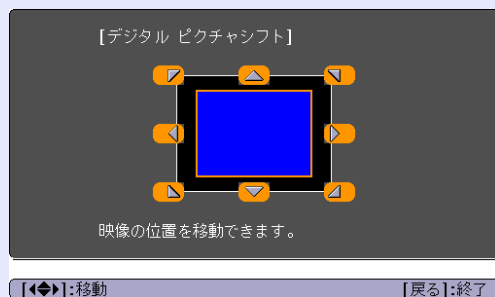
15

スクリーンの真正面に本機を設置できない場合も、本機を動かさずに投写位置を微調整できます。

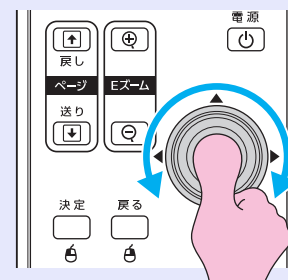


操作

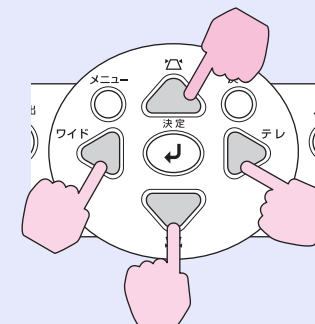
- 1 本体のボタンでズーム調整または台形補正を行います。
☛『セットアップガイド』
調整終了後にデジタル ピクチャシフト調整画面が表示されます。
- 2 投写位置を調整します。



リモコンの場合



本体の場合



3

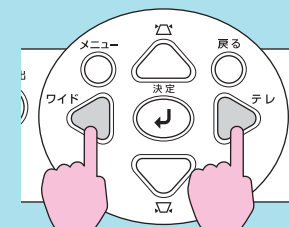
- [戻る]ボタンを押して調整画面を終了します。
何も操作しないと、約10秒後に自動的に調整画面が消えます。



ポイント

- ズームを「ワイド」側に最大にしているときは投写位置を調整できません。
- デジタル ピクチャシフトの設定は電源を切っても記憶されています。投写位置や本機の角度を変えたときは調整し直すか、次の操作を行います。

本体



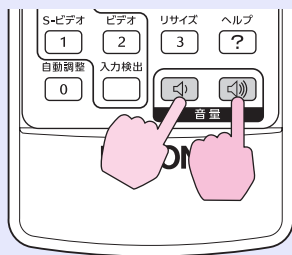
[ワイド]ボタンを押したまま[テレ]ボタンを1秒以上押します。

- 環境設定メニューでも調整できます。☛p.32

本機の内蔵スピーカの音量を調整します。

操作

リモコン



⏮側を押すと音量が上がり、⏭側を押すと下がります。
調整中は音量ゲージが表示されます。



ポイント

- 音量調整を行っているときに、画面に表示されているゲージの値が変化しなくなったら、音量調整の限界に達したことを示しています。
- 音量は環境設定メニューでも調整できます。👉 [p.32](#)

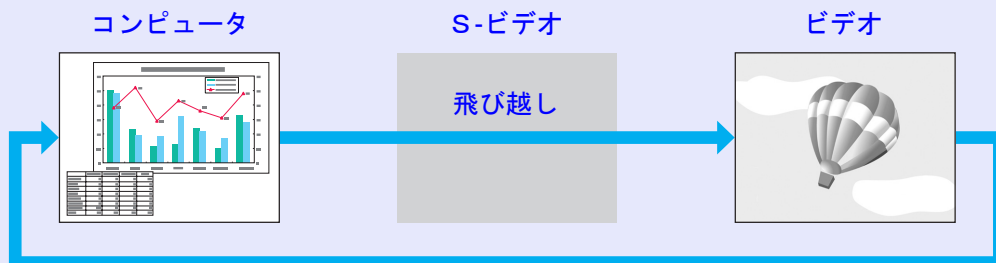
投写映像を切り替える(入力検出)



17

入力信号を自動検出して切り替える(入力検出)

信号が入力されている機器の映像信号を自動検出して投写します。



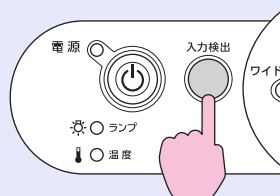
操作

1 入力検出を行います。

リモコンの場合



本体の場合

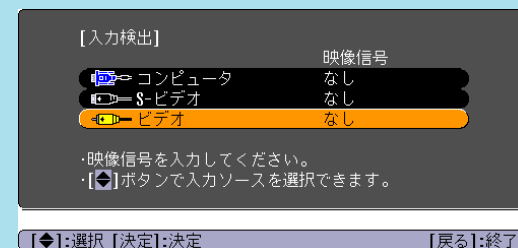


- 2 検出中画面が表示され、映像が投写されます。
複数の機器を接続している場合は、目的の映像が投写されるまで[入力検出]ボタンを繰り返し押してください。



ポイント

- ビデオ機器を接続している場合は再生状態にしてください。
- 現在投写されている映像信号しか入力されていない場合、または映像信号がまったく入力されていない場合は、次の画面が表示されます。この画面から目的の入力ソースを選択することができます。



リモコンでダイレクトに切り替える

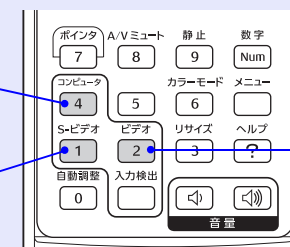
リモコンのボタンを使って、目的の入力ソースに直接切り替えることができます。

リモコン

コンピュータ端子からの映像に切り替えます。

S-ビデオ端子からの映像に切り替えます。

ビデオ端子からの映像に切り替えます。



便利な機能

ここでは、プレゼンテーションなどに効果的な機能と、セキュリティ機能について説明しています。

投写を効果的にする機能..... 19

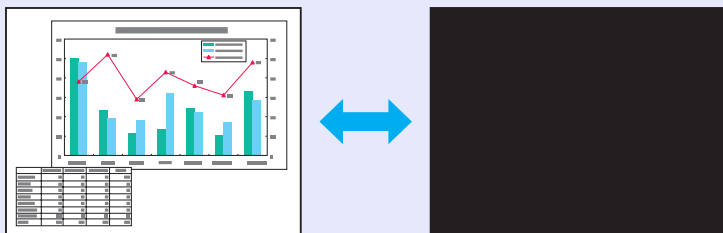
- 映像と音声を一時的に消す(A/Vミュート) 19
- 映像を停止させる(静止) 19
- アスペクト比を切り替える(リサイズ) 20
- ポインタを表示する(ポインタ) 20
- 映像を部分的に拡大する(Eズーム) 21
- リモコンでマウスポインタを操作する
(ワイヤレスマウス) 22

セキュリティ機能..... 24

- 利用者を管理する(パスワードプロテクト) 24
 - パスワードプロテクトを有効にしていると 24
 - パスワードプロテクトの設定方法 25
- 操作ボタンをロックする(操作ボタンロック) 26

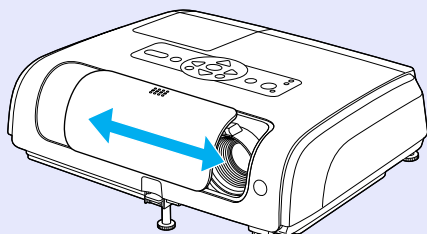
映像と音声を一時的に消す(A/Vミュート)

ちょっと投写を止めて話しに集中させたいときや、投写するファイルの切り替えなど、操作内容を見せたくないときに使います。

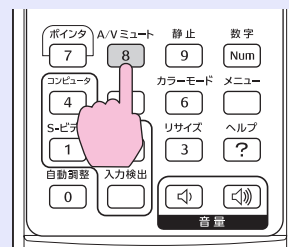


操作

本体の場合



リモコンの場合



レンズカバーを開閉または[A/Vミュート]ボタンを押すと、A/Vミュートを実行/解除します。

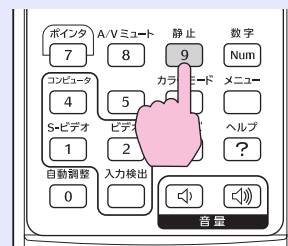
レンズカバーを閉めると映像は投写されませんが、[A/Vミュート]ボタンを押した場合は、環境設定メニューの「A/Vミュート」で設定した表示状態になります。👉 p.33

映像を停止させる(静止)

静止を実行したときの画面が投写されたままになります。ファイルの切り替えなどが投写されずに行えます。

操作

リモコン



ボタンを押すたびに静止を実行/解除します。



ポイント

- 音声は停止しません。
- 動画の場合は、停止している間も映像は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。
- [静止]ボタンを押すと、環境設定メニュー、ヘルプメニューは消去されます。
- Eズーム実行時も、静止機能で停止できます。

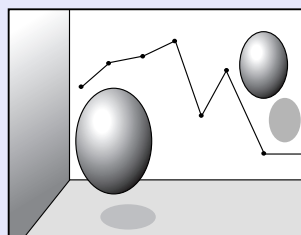


ポイント

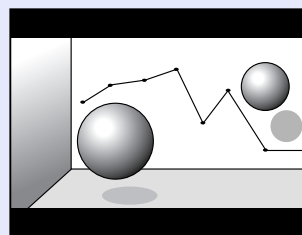
動画の場合は、A/Vミュート中も映像と音声は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。

アスペクト比を切り替える(リサイズ)

コンポーネントビデオ▶、S-ビデオ▶、コンポジットビデオ▶投写時は、アスペクト比▶4:3と16:9を切り替えることができます。デジタルビデオで録画した映像やDVD映像を16:9のワイド画面で投写できます。



スクイーズモード▶の映像を4:3で投写した場合



スクイーズモードの映像を16:9で投写した場合

操作

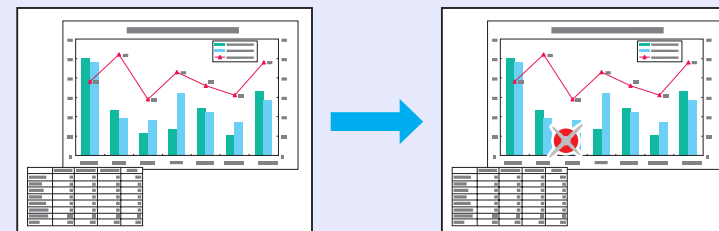
リモコン



ボタンを押すたびに表示を切り替えます。

ポインタを表示する(ポインタ)

ポインタで投写映像を指し示し、どこを説明しているかを明確にしたり、注目させるときに使います。



操作



ポインタを表示します。

リモコン



ボタンを押すたびに表示/非表示を切り替えます。

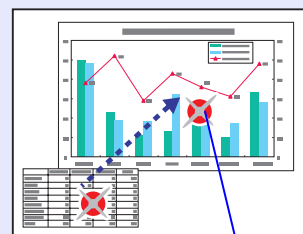
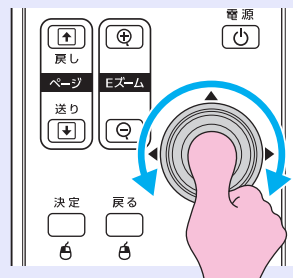


環境設定メニューの「映像」→「リサイズ」からも設定できます。



② ポインタアイコンを移動します。

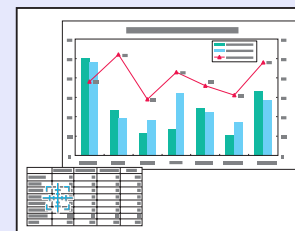
リモコン



ポインタアイコン

映像を部分的に拡大する(Eズーム)

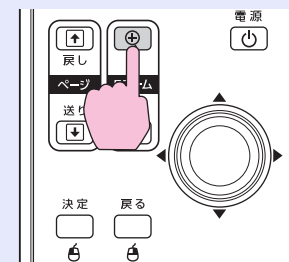
グラフや表の細目などの見たい部分だけ大きく見たいときに便利です。



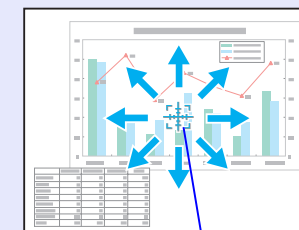
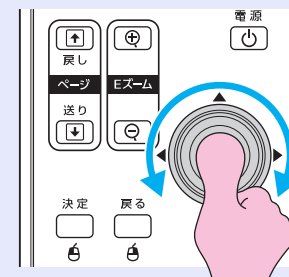
操作

① Eズームを開始します。

リモコン



② 拡大/縮小表示したい部分にターゲットスコープを移動させます。



ターゲットスコープ

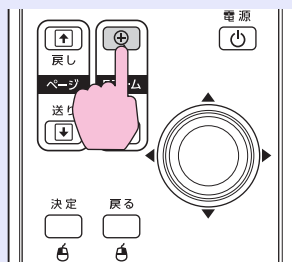


ポイント

環境設定メニューの「設定」→「ポインタ形状」でポインタアイコンの形状を3種類から設定できます。☞p.32



3 拡大します。



[－]ボタンを押すと拡大した結果を縮小します。
解除するには[戻る]ボタンを押します。



ポイント

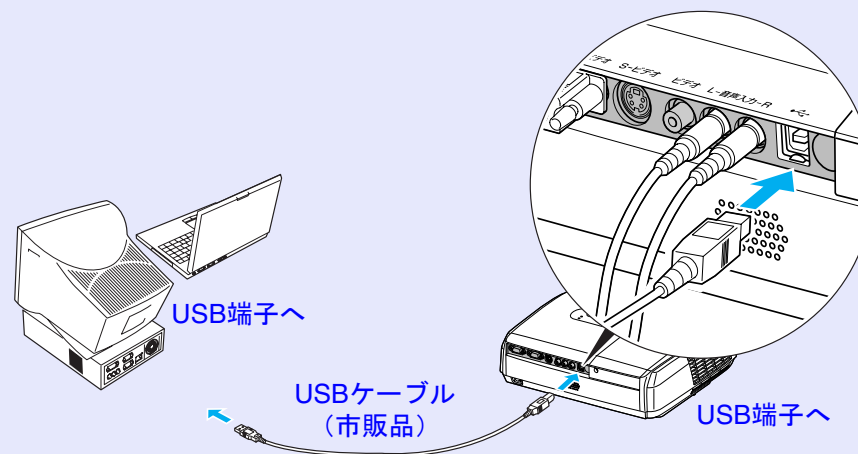
- 画面上に倍率が表示されます。
- [⊙]を傾けることによって、画面のスクロールができます。
- 1～4倍まで、25段階で拡大できます。

リモコンでマウスポインタを操作する(ワイヤレスマウス)

コンピュータのUSB端子と、本機背面のUSB端子を市販のUSBケーブルで接続すると、ワイヤレスマウスのように、同梱のリモコンでコンピュータのマウスポインタを操作できます。

対応コンピュータ

Windows 98/2000/Me/XP Home Edition/XP Professional
Macintosh (OS 8.6～9.2/10.0～10.4)

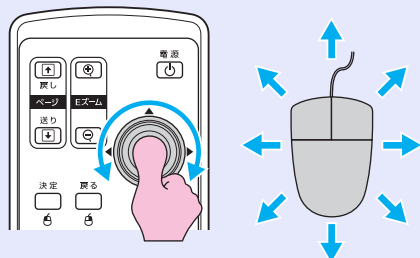


ポイント

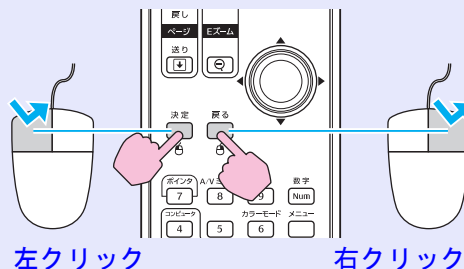
- USBケーブルでの接続は、USB標準搭載モデルにのみ対応しています。Windowsの場合は、Windows98/2000/Me/XP Home Edition/XP Professionalプリインストールモデルだけに対応しています。アップグレードしたWindows98/2000/Me/XP Home Edition/XP Professional環境下では動作を保証いたしません。
- Windows/MacintoshともにOSのバージョンによりワイヤレスマウス機能を使用できない場合があります。
- マウスを使用するために、コンピュータ側の設定が必要な場合があります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

接続した後はマウスポインタを次のように操作できます。

マウスポインタの移動

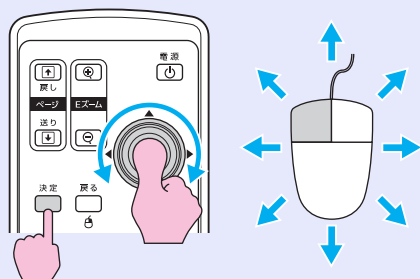


マウスクリック



ダブルクリック: すばやく2回押します。

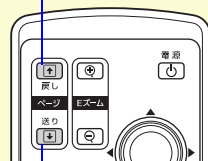
ドラッグ&ドロップ



- ①[決定]ボタンを押したまま、[方向キー]を傾けてドラッグします。
- ②任意の場所で[決定]ボタンを離すと、ドロップします。

PowerPointのスライドショーで、前のスライドを表示/次のスライドを表示

前のスライドへ



次のスライドへ



ポイント

- ・コンピュータでマウスボタンの左右を逆に設定している場合は、リモコンでの操作も逆になります。
- ・次の機能を使用しているときは、ワイヤレスマウス機能は行えません。
 - ・環境設定メニューの表示中
 - ・ヘルプ表示中
 - ・Eズーム機能中
 - ・ユーザーロゴのキャプチャ中
 - ・ポインタ機能中
 - ・音量調整中
 - ・デジタル ピクチャシフト実行中



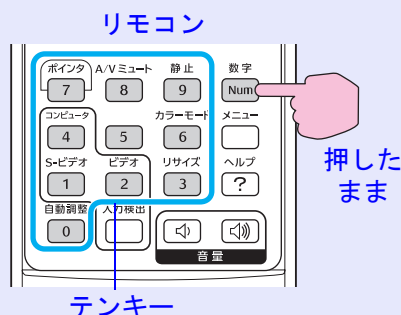
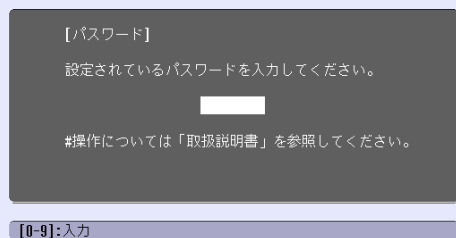
利用者を管理する(パスワードプロテクト)

パスワードプロテクト機能を有効にすると、電源を入れてもパスワードを知らない人は投写できません。さらに、電源を入れたときに表示される社名ロゴ等を変更できなくなります。この結果、本機を持ち出しても使えないため、盗難等の防止につながります。ご購入時は、パスワードプロテクト機能は無効になっています。

パスワードプロテクトを有効にしていると

■「電源投入時」を有効(オン)にしている場合

本機に接続した電源ケーブルをコンセントに接続後、初めて本機の電源を入れた場合や、ダイレクトパワーオンを行ったとき、次のパスワードを入力する画面が表示されます。



設定しているパスワードを、[数字]ボタンを押したまま[テンキー]ボタンで入力します。パスワードを正しく入力すると、投写を開始します。

電源プラグをつないだままにしている、本機のスタンバイ状態から電源を入れた場合は、パスワード入力画面を表示せずに投写が開始されます。電源プラグをコンセントに接続後、初めて本機の電源を入れた場合に限りパスワードを入力する画面が表示されます。ダイレクトパワーオンを「オン」にして、ブレーカーなどで電源の一括管

理をしている場合は、通電後はじめて本機の電源が入ったときにパスワードを入力する画面が表示されます。



ポイント

- パスワードプロテクトに関してお問い合わせいただいた際は、お客様から返送いただいた『お客様情報＋正式保証書発行カード』に記載されているお客様のお名前や連絡先などをお聞きし、ご本人様であることを確認させていただきます。同梱の『お客様情報＋正式保証書発行カード』に必要事項を記入して、必ず返送してください。
- 間違ったパスワードを続けて3回入力した場合は、「プロジェクターの動作を停止します。」と、メッセージが約5分間表示され、本機がスタンバイ状態になります。この場合は、電源プラグを抜いて差し直し、本機の電源を入れます。パスワードの入力を求める画面が表示されますので、パスワードを正しく入力してください。
万一、パスワードを忘れてしまったときは、画面に表示されている「問い合わせコード:xxxxx」の番号を控えて、プロジェクターインフォメーションセンターにご連絡いただき、その指示に従ってください。📞p.75
- 上記の操作を繰り返し、間違ったパスワードを続けて30回入力した場合は、次のメッセージが表示されパスワード入力もできなくなります。「プロジェクターの動作を停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。」📞p.75

■「パスワードタイマ」を有効(オン)にし、「時間設定」をした場合

設定した時間が経過するまでの間は、電源投入時にパスワード入力画面はまったく表示されません。設定した時間が経過すると、それ以降は本機の電源を入れるたびにパスワード入力画面が表示されます。ここでいう経過時間とは、本メニュー終了時からカウントとしたランプ点灯時間の合計です。

「パスワードタイマ」を「オフ」にすると、本機から電源プラグを抜き差しするたびにパスワード入力画面が表示されます。本機のスタンバイ状態から電源を入れた場合は、パスワード入力画面は表示されません。

■「ユーザーロゴ保護」を有効(オン)にしている場合

次のユーザーロゴに関する操作を行おうとすると、メッセージが表示され、変更することができません。変更する場合は、オフにしてから操作してください。  p.26

- ・ユーザーロゴのキャプチャを実行する場合
- ・環境設定メニューの「拡張設定」→「表示設定」→「背景表示」や「拡張設定」→「表示設定」→「A/Vミュート」の設定を「ロゴ」から「黒」、「青」に変更する、または「黒」、「青」から「ロゴ」に変更する場合
- ・環境設定メニューの「拡張設定」→「表示設定」→「スタートアップスクリーン」の設定(「オン」、「オフ」)を変更する場合

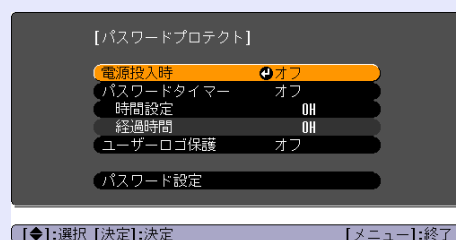
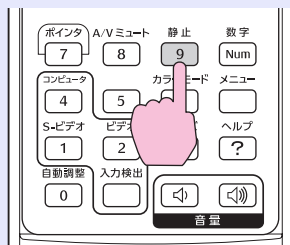
■パスワードプロテクトの設定方法

パスワードプロテクトの設定は、下記の手順で行います。

操作

- 1 「静止」ボタンを約5秒間押し続けます。
パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。

リモコン



- ・すでにパスワードプロテクトが有効になっていると、パスワードを入力する画面が表示されます。
パスワードを正しく入力するとパスワードプロテクト設定メニューが表示されます。  「パスワードプロテクトを有効にしている」と p.24
- ・パスワードプロテクトを「オン」にした場合は、盗難防止の効果を高めるために製品同梱のパスワードプロテクトシールを本機のお好きな位置に貼ってください。



2 「電源投入時」を有効にします。

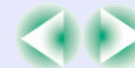
- ① 「電源投入時」を選択し、[決定]ボタンを押します。
- ② 「オン」を選択し、[決定]ボタンを押します。
- ③ [戻る]ボタンを押します。



3 「パスワードタイマ」を有効にします。

時間設定しない場合→手順4に進んでください。

- ① 「パスワードタイマ」を選択し、[決定]ボタンを押します。
- ② 「オン」を選択し、[決定]ボタンを押します。
- ③ [戻る]ボタンを押します。
- ④ 「時間設定」を選択し、[決定]ボタンを押します。
- ⑤ [数字]ボタンを押したまま、[テンキー]ボタンで設定時間を1～9999の範囲で入力し、[決定]ボタンを押します。間違えて入力した場合は、[戻る]ボタンを押して再度入力します。
パスワードプロテクト設定メニューを終了すると、経過時間のカウントを開始します。



4 「ユーザーロゴ保護」を有効にします。

- ① 「ユーザーロゴ保護」を選択し、[決定]ボタンを押します。
- ② 「オン」を選択し、[決定]ボタンを押します。
- ③ [戻る]ボタンを押します。

5 パスワードを設定します。

- ① パスワードを設定するには、「パスワード設定」を選択し、[決定]ボタンを押します。
- ② 「パスワードを変更しますか？」と表示されるので、「はい」を選択し、[決定]ボタンを押します。初期設定でパスワードは「0000」に設定されていますが、必ず任意のパスワードに変更してください。「いいえ」を選択すると、手順1の画面にもどります。
- ③ [数字]ボタンを押したまま、[テンキー]ボタンで4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「****」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面に切り替わります。
- ④ 入力したパスワードを再度入力します。「パスワード設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。
間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

操作ボタンをロックする(操作ボタンロック)

本体操作パネルのボタンをロックします。
イベントやショーなどで、投写のみ行い、操作はまったくできないようにしたり、学校などで、操作できるボタンを制限したいときに便利です。

操作

- 1 環境設定メニューから「設定」→「操作ボタンロック」を選びます。

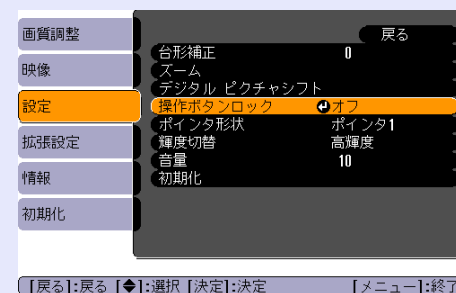
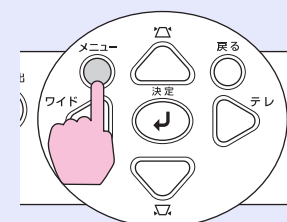
操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。  [p.29](#)

使えるボタンと操作は画面下に表示されるガイドでご確認ください。

リモコンの場合



本体の場合



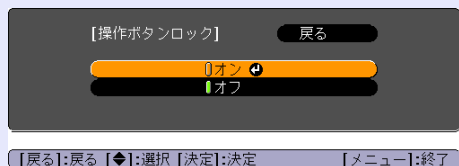
[戻る]:戻る [決定]:決定 [メニュー]:終了



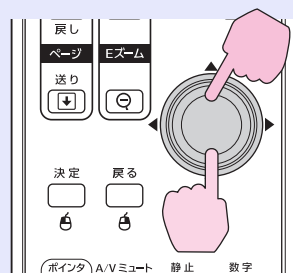
2

「オン」に設定します。

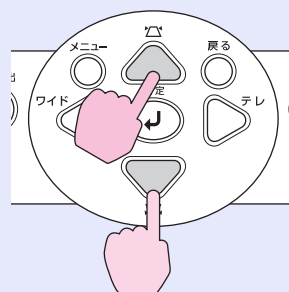
「オン」に設定すると、操作パネルの[電源]ボタンを除く全ボタンが操作できなくなります。



リモコンの場合



本体の場合



3

確認のメッセージが表示されるので、「はい」を選びます。
設定に従い、操作パネルのボタンがロックされます。



ポイント

操作パネルボタンロックを解除するには、次の2通りの方法があります。

- リモコンを使って、環境設定メニューの「設定」→「操作ボタンロック」を「オフ」に設定します。
- 本体の[決定]ボタンを約7秒間押し続けると、メッセージが表示され、ロックが解除されます。

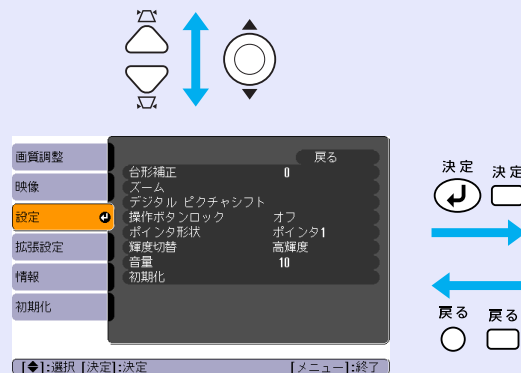


環境設定メニュー

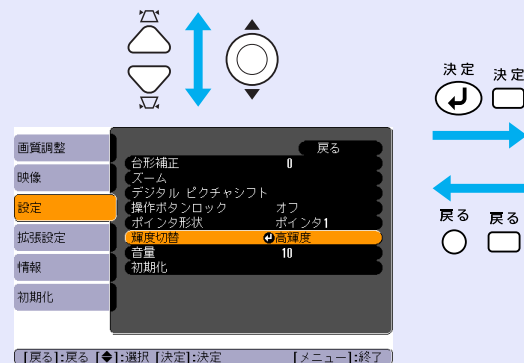
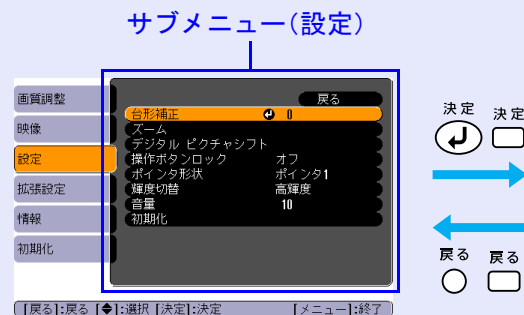
ここでは、環境設定メニューの機能と操作方法について説明しています。

環境設定メニューの操作	29
機能一覧	30
• 画質調整メニュー	30
• 映像メニュー	31
• 設定メニュー	32
• 拡張設定メニュー	33
• 情報メニュー	35
• 初期化メニュー	36

1 トップメニューの選択



2 サブメニューの選択

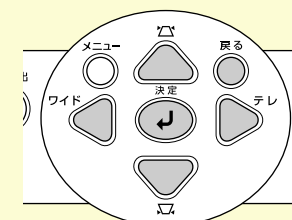


3 選択した項目の変更

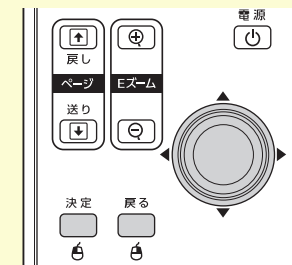


使用するボタン

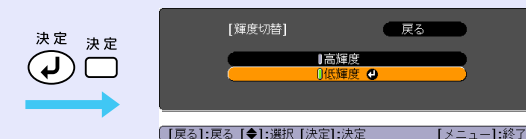
本体の場合



リモコンの場合



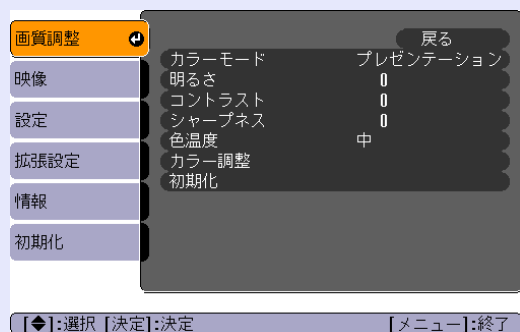
変更したい設定を選んで



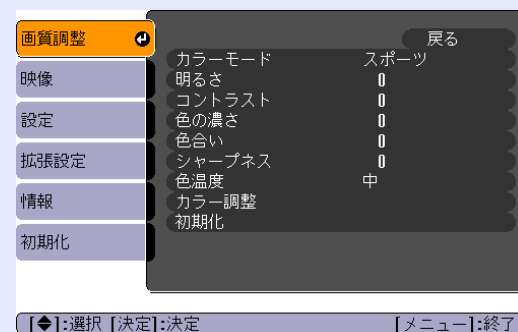
画質調整メニュー

現在投写している入力ソースにより設定できる項目が異なります。内容は、入力ソースごとに保存されます。

コンピュータ/RGBビデオ



コンポーネントビデオ▶/コンポジットビデオ▶/S-ビデオ▶

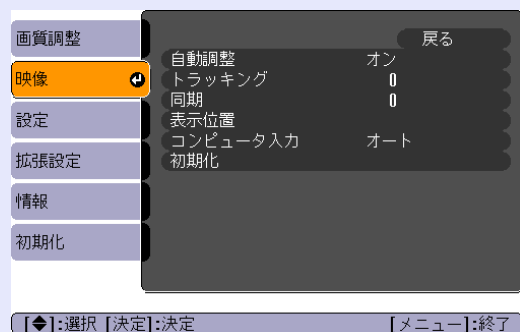


サブメニュー	機能
カラーモード	使用シーンに応じて、画質を選択できます。🖱️ p.14
明るさ	映像の明るさを調整します。
コントラスト▶	映像の明暗の差を調整します。
色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。
色合い	(コンポーネントビデオとNTSC系の信号入力時のみ調整可能) 映像の色合いを調整します。
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。
色温度▶	映像全体の色合いを調整します。「高」を選択すると、青みがかった映像になり、「低」を選択すると赤みを帯びた映像になります。(「画質調整」→「カラーモード」の調整値を「 sRGB▶ 」に設定している場合、本項目は選択できません。)
カラー調整	映像の赤、緑、青の各色の強さを調整します。 赤: 赤色の強さを調整します。 緑: 緑色の強さを調整します。 青: 青色の強さを調整します。 (「画質調整」→「カラーモード」の調整値を「 sRGB▶ 」に設定している場合、本項目は選択できません。)
初期化	「画質調整」メニューの調整値を初期値に戻します。全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは 🖱️ p.36

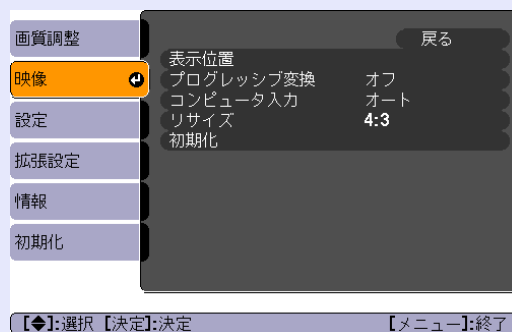
映像メニュー

現在投写している入力ソースにより設定できる項目が異なります。内容は、入力ソースごとに保存されます。

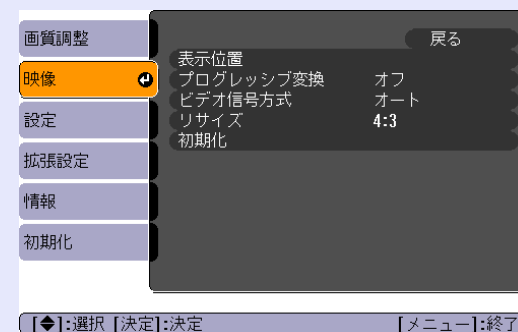
コンピュータ /RGB ビデオ



コンポーネントビデオ

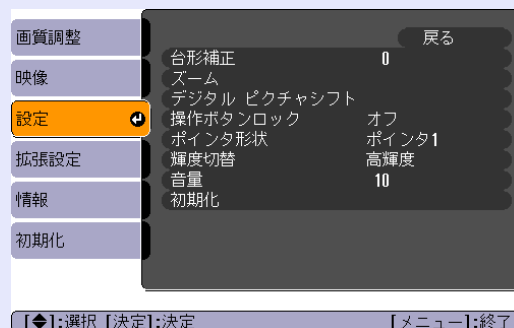


コンポジットビデオ/S-ビデオ



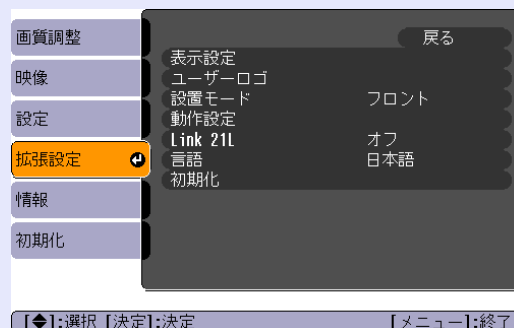
サブメニュー	機能
自動調整	入力信号が切り替わったときに、映像を自動で最適な状態に調整する自動調整のオン/オフを設定します。  p.11
トラッキング	映像に縦の縞模様が出るときに調整します。  p.11
同期	映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。  p.12
表示位置	映像の表示位置を上下左右に移動します。
プログレッシブ 変換	(コンポーネントビデオ(525i/625iのみ)/コンポジットビデオ/S-ビデオ信号入力時のみ可能) オフ:IP変換を各フィールドの画面内で行います。動きの大きい映像をお楽しみいただくときに適しています。 オン: インタレース (i)信号を プログレッシブ (p)に変換します。静止画に適しています。
コンピュータ入力	コンピュータ 端子に接続している機器に応じて入力信号を選択します。 「オート」にすると、接続機器に応じて自動的に入力信号を設定します。 「オート」に設定していて、色が正しく表示されない場合は、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。
ビデオ信号方式	(コンポジットビデオ/S-ビデオ信号入力時のみ調整可能) 「オート」は、ビデオ信号を自動認識します。「オート」に設定していて、映像にノイズが入ったり、映像が映らないなどのトラブルが起きる場合は、適切な信号を選択してください。
リサイズ	映像の アスペクト比 を設定します。  p.20
初期化	「映像」メニューのうち、「コンピュータ入力」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは  p.36

設定メニュー



サブメニュー	機能
台形補正	台形にゆがんだ画面を垂直方向に補正します。🔊『セットアップガイド』
ズーム	投写映像のサイズを調整します。🔊『セットアップガイド』 ワイド:拡大 テレ:縮小
デジタル ピクチャシフト	投写位置を調整します。🔊p.15
操作ボタンロック	オンにすると[電源]ボタン以外の本体操作パネルの操作が無効になります。🔊p.26
ポインタ形状	ポインタの形状を選択します。🔊p.20 ポインタ1:  ポインタ2:  ポインタ3: 
輝度切替	ランプの明るさを2段階で切り替えることができます。 暗い部屋で投写したり小さなスクリーンに映す場合に、投写映像が明るすぎるときは「低輝度」に設定します。「低輝度」で使用すると、投写中の消費電力が減り、ランプ寿命が延びます。(消費電力:約35W減、ランプ寿命:約1.5倍)
音量	音量を調節します。🔊p.16
初期化	「設定」メニューのうち、「ズーム」および「デジタル ピクチャシフト」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは🔊p.36

拡張設定メニュー



サブメニュー	機能
表示設定	本機の表示に関する設定を行います。 メッセージ表示: 入力ソースやカラーモードを切り替えたときの入力ソース名、またはカラーモード名や映像信号が入力されていないときなどのメッセージ表示を画面に表示する(オン)/しない(オフ)を設定します。 背景表示: 映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を「黒」、「青」、「ロゴ」のいずれかで設定します。 スタートアップスクリーン: スタートアップスクリーン(投写開始時に投写される映像)を起動時に表示する(オン)/しない(オフ)を設定します。電源を入れ直した以降、設定が有効になります。 A/Vミュート: リモコンの[A/Vミュート]ボタンを押してA/Vミュートを実行したときの画面の状態を「黒」、「青」、「ロゴ」のいずれかで設定します。
ユーザーロゴ	背景表示、A/Vミュート時などに表示するユーザーロゴを変更します。🖱️ p.59
設置モード	本機の設置状態に合わせて設定します。🖱️ p.51 「フロント」「フロント・天吊り」「リア」「リア・天吊り」 リモコンの[A/Vミュート]ボタンを約5秒間押しつづけると、天吊りの設定を次のように切り替えることができます。 「フロント」⇔「フロント・天吊り」 「リア」⇔「リア・天吊り」



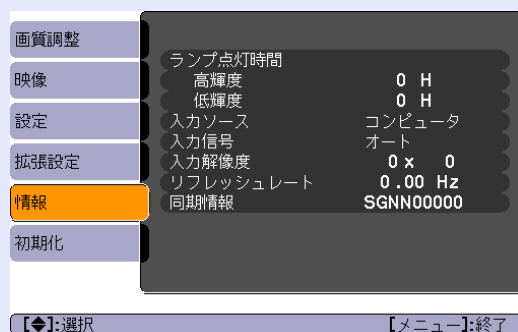
サブメニュー	機能
動作設定	ダイレクトパワーオン: ダイレクトパワーオンさせる(オン)/させない(オフ)を設定します。 「オン」に設定しているときは、停電復旧時などに、コンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると本機の電源がオンになりますので、注意してください。 スリープモード: 次のようなときに、自動的に投写を終了させる(オン)/させない(オフ)を設定します。 - 映像信号が未入力のまま、約30分間操作しないとき。 - レンズカバーを閉じて約30分間操作しないとき。 「オフ」に設定しているときは、本機の電源は入ったままです。電源の切り忘れに注意してください。「オン」に設定すると、A/Vミュートの状態で約30分経つと自動的に電源が切れます。お買い上げ時にはスリープモードはオフになっています。 高地モード: 内部温度を下げるためのファンの回転速度を設定します。 標高約1500m以上でお使いの場合は「オン」にします。
Link 21L	USB接続による通信やユーティリティソフトEMP Link21Lの使用/不使用を設定します。設定を変更した場合は、一度電源を切って、クールダウン終了後以降、EMP Link 21Lが使用できるようになります。USB通信ドライバをインストールした以降は、「オン」の設定のままお使いください。
言語	メッセージやメニューに表示する言語を設定します。
初期化	「拡張設定」メニューのうち、「表示設定」および「動作設定(「高地モード」は除く)」の調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは  p.36



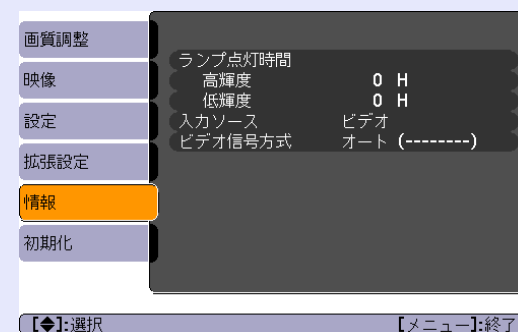
情報メニュー

投写している映像信号や本機の状態を確認できます。(表示のみ)

コンピュータ/RGBビデオ/コンポーネントビデオ▶

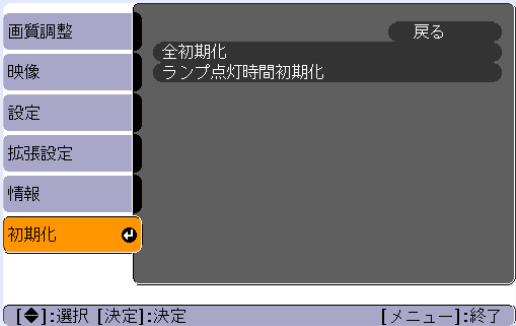


コンポジットビデオ▶/S-ビデオ▶



サブメニュー	機能
ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間が表示されます。 ランプ寿命警告時間に達すると、文字が黄色で表示されます。 累積使用時間が、0～10時間までは「0H」と表示されます。10時間以上は「10H」、「11H」と1時間単位で表示されます。
入力ソース	現在投写中の入力ソースを表示します。
入力信号	入力信号の設定を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)
入力解像度	入力解像度を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)
ビデオ信号方式	ビデオの信号方式を表示します。 (コンピュータ、RGBビデオ、コンポーネントビデオの場合は表示されません。)
<u>リフレッシュ</u> <u>レート</u> ▶	リフレッシュレートを表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)
<u>同期</u> ▶情報	映像信号の情報を表示します。 プロジェクターインフォメーションセンターに問い合わせをしたときに、この表示内容が必要になる場合があります。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)

初期化メニュー



サブメニュー	機能
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 「コンピュータ入力」、「ズーム」、「デジタル ピクチャシフト」、「ユーザーロゴ」、「ランプ点灯時間」、「言語」は初期値に戻りません。
ランプ点灯時間 初期化	ランプ点灯時間の累積をクリアし、「0H」に戻します。ランプを交換したときに行ってください。

困ったときに

ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

ヘルプの見方	38
故障かなと思ったら	39
• インジケータの見方	39
• 電源インジケータ 赤色点灯時	39
• ランプまたは温度インジケータ オレンジ色点滅時	41
• インジケータを見てもわからないとき	42
• 映像に関するトラブル	43
• 投写開始時のトラブル	48
• その他のトラブル	48

トラブル発生時の解決方法を投写映像に表示できます。質問に答える形式で階層を進んでいきます。

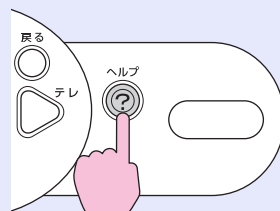
操作

1 ヘルプメニューを表示します。

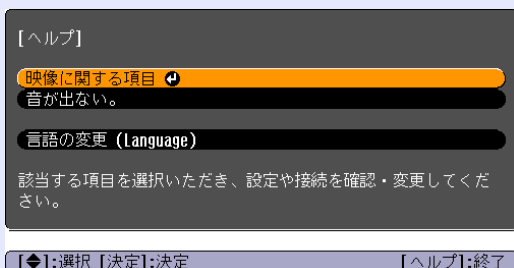
リモコンの場合



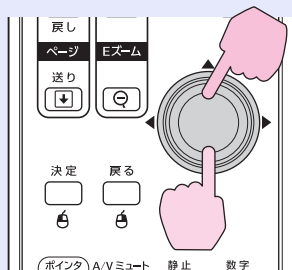
本体の場合



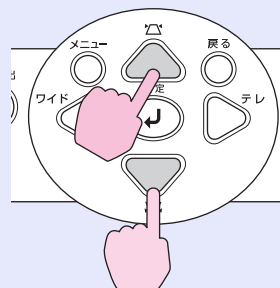
2 項目を選択します。



リモコンの場合

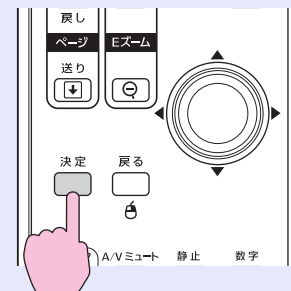


本体の場合

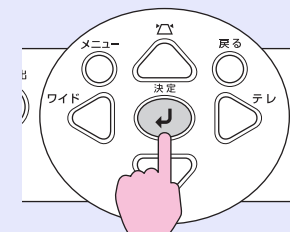


3 項目を決定します。

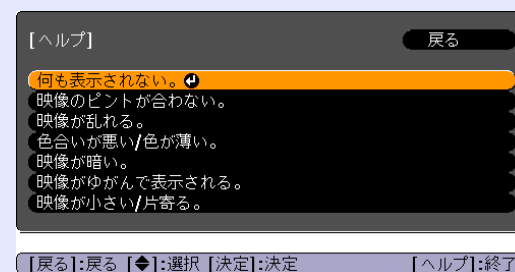
リモコンの場合



本体の場合



4 手順2、3の操作と同様にさらに詳細な項目を選択・決定します。



5 [ヘルプ]ボタンを押して、ヘルプメニューを終了します。

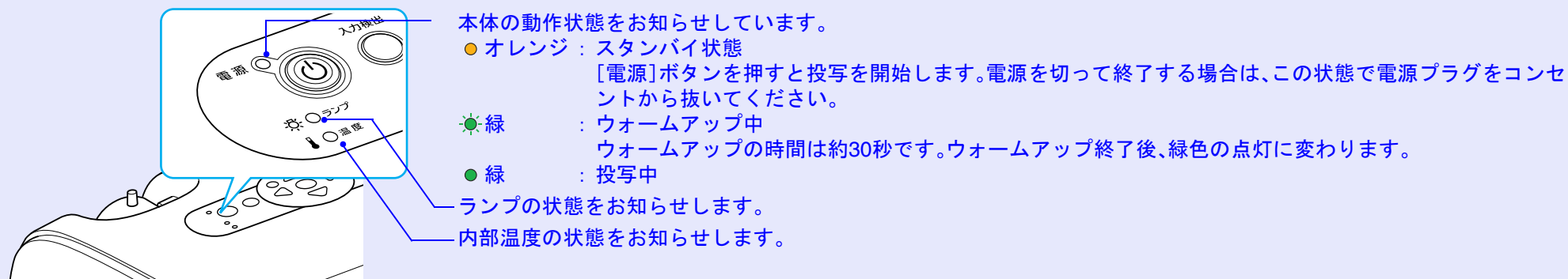


ヘルプ機能を使ってもわからないときは、「故障かなと思ったら」(p.39)をご覧ください。

故障かな？と思ったら、まず本体のインジケータをご覧になり下記の「インジケータの見方」で本機の状態をご確認ください。
インジケータをご覧になってもわからないときは、「インジケータを見てもわからないとき」を参照してください。🖱️ [p.42](#)

インジケータの見方

本機には、次の3種類のインジケータがあり本機の状態を知らせています。



インジケータの状態とその対処方法については、次表を参照してください。
インジケータがすべて消灯している場合は、電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。

電源インジケータ 赤色点灯時 異常

● :点灯 ☀️ :点滅 ○ :消灯

状態	原因	処置または状態
電源 ● 赤 ☀️ ● 赤 🌡️ ● 赤	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。🖱️ p.75
電源 ● 赤 ☀️ ○ 🌡️ ● 赤	ファン異常 センサ異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。🖱️ p.75



● : 点灯  : 点滅 ○ : 消灯

状態	原因	処置または状態
電源 ● 赤  ○  ● 赤	内部高温異常 (オーバーヒート)	ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態待ちます。約5分後、スタンバイ状態になりますので、次の2点を確認します。確認後、[電源]ボタンを押して、電源を入れ直します。 • エアークフィルタ・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 • エアークフィルタが目詰まりしている場合は、掃除または交換をしてください。☞p.52, 58 それでも繰り返しオーバーヒート状態になったり、電源を入れ直したときにインジケータが異常を示したときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。☞p.75
電源 ● 赤   赤  ○	ランプ異常 ランプ点灯失敗 ランプカバー開放異常	ランプの割れとエアークフィルタ・吸気口の目詰まりを確認してください。 • ランプを取り出してランプが割れていないか確認します。☞p.55 • エアークフィルタ・吸気口を掃除します。☞p.52 • 割れていないとき → ランプを再セットして、電源を入れます。 それでもエラーになるとき → 新しいランプに交換してから電源を入れます。 それでもエラーになるとき → ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。 • 割れているとき → お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください (ランプを交換しないと映像を投写することはできません)。 ランプカバーやランプが確実に取り付けられているか確認してください。☞p.55 ランプカバーとランプの取り付けが不完全な場合はランプが点灯しません。 標高1500m以上の場所でお使いの場合は、「高地モード」を「オン」にしてください。☞p.34



ランプまたは温度インジケータ オレンジ色点滅時 **警告**

● : 点灯  : 点滅 ○ : 消灯

状態	原因	処置または状態
電源  赤  ○   オレンジ	高速冷却中	(異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動的に停止させます。) ● エアーフィルタ・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 ● エアーフィルタが目詰まりしている場合は、掃除または交換をしてください。  p.52, 58
電源 ●   オレンジ  ○	ランプ交換勧告	新しいランプに交換してください。  p.55 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。すみやかに新しいランプと交換してください。電源インジケータは、そのときのプロジェクターの状態により異なります。

-  **ポイント**
- インジケータは異常を示してないのに、投写映像が異常のときは、次ページの「インジケータを見てもわからないとき」をご覧ください。
 - 各インジケータがこの表にない状態のときは、販売店またはプロジェクターインフォメーションセンターにお問い合わせください。

インジケータを見てもわからないとき

まず、下記をご覧になりどのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内容をご覧ください。

映像に関するトラブル

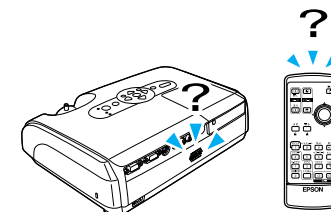
- 映像が表示されない  [p.43](#)
投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど...
- 自動的に投写が消える  [p.43](#)
- 「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される  [p.44](#)
- 「映像信号が入力されていません。」と表示される  [p.44](#)
- ぼやける、ピントが合わない  [p.45](#)
- ノイズが入る、乱れる  [p.45](#)
ノイズが入る・乱れる・市松模様のようにモノクロのチェックになるなど...
- 映像が切れる(大きい)、小さい  [p.46](#)
映像の一部分しか投写されないなど...
- 色合いが違う  [p.47](#)
全体が赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむなど...
(コンピュータのモニターや液晶画面とは色の再現性が異なるため、プロジェクターでの投写映像とモニターでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)
- 暗い  [p.47](#)
- 外部モニターに表示されない  [p.47](#)

投写開始時のトラブル

- 電源が入らない  [p.48](#)

その他のトラブル

- 音が出ない・小さすぎる  [p.48](#)
- リモコンで操作できない  [p.48](#)
- メッセージやメニューが日本語で表示されない  [p.49](#)



映像に関するトラブル

■ 映像が表示されない

確認	対処法
[電源]ボタンを押しましたか？	[電源]ボタンを押して電源を入れます。
インジケータがすべて消灯していませんか？	電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。本機に電源ケーブルを正しく接続してください。☛『 セットアップガイド 』または、電気が供給されるようにブレーカなどを確認してください。
A/Vミュートの状態になっていませんか？	リモコンの[A/Vミュート]ボタンを押してA/Vミュートを解除します。☛ p.19
環境設定メニューの設定で間違っているものはありませんか？	全初期化してみてください。☛「初期化」→「全初期化」 p.36
入力映像そのものが真っ黒になっていませんか？ コンピュータ投写時のみ	スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。
映像の信号形式の設定は合っていますか？ ビデオ機器投写時のみ	コンポジットビデオ 、 S-ビデオ を接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。☛「映像」→「ビデオ信号方式」 p.31
レンズカバーを閉じたままではありますか？	レンズカバーを開けます。

■ 自動的に投写が消える

確認	対処法
「スリープモード」を「オン」にしていますか？	「スリープモード」を働かせないときは設定を「オフ」にしてください。☛「拡張設定」→「動作設定」→「スリープモード」 p.34

■「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ ビデオ機器投写時のみ	コンポジットビデオ 、 S-ビデオ を接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。☛「映像」→「ビデオ信号方式」 p.31
映像信号の周波数や解像度が対応するモードですか？ コンピュータ投写時のみ	コンピュータから出力されている映像信号の解像度・周波数の変更は、コンピュータの取扱説明書などでご確認ください。☛対応解像度一覧 p.68

■「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛『 セットアップガイド 』
接続した映像入力端子を正しく選択していますか？	リモコンの[コンピュータ]、[S-ビデオ]、[ビデオ]またはリモコンか本体の[入力検出]ボタンを押して映像を切り替えます。☛ p.17
接続されたコンピュータやビデオ機器の電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源を入れます。
プロジェクターに映像信号が出力されていますか？ ノートや液晶一体型タイプのコンピュータ投写時のみ	映像信号がコンピュータの液晶モニターや付属モニターにだけ出力されている場合は、外部にも出力するように切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶モニターや付属モニターに映像が出せないモデルもあります。☛コンピュータの『取扱説明書』「外部出力のしかた」や「外付けモニターへ出力のしかた」など 本機やコンピュータの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピュータの映像信号を外部に切り替える[Fn]（ファンクションキー）が使えないことがあります。本機およびコンピュータの電源を入れ直してください。☛『 セットアップガイド 』

■ ぼやける、ピントが合わない

確認	対処法
ピントは正しく調整されていますか？	本体のフォーカスリングを回してピントを合わせます。
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲は87cm～1212cmです。 この範囲で設置してください。🔊『 セットアップガイド 』
台形補正の調整値を大きくしていませんか？	投写角度を小さくして台形補正の調整値を小さくしてください。🔊『 セットアップガイド 』
ズームの設定を小さくしていませんか？	ズームの設定を大きくしてください。🔊『 セットアップガイド 』
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。

■ ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ ビデオ機器投写時のみ	コンポジットビデオ 、 S-ビデオ を接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。🔊「映像」→「ビデオ信号方式」 p.31
ケーブル類は正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。🔊『 セットアップガイド 』
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを使用して確認してください。
解像度の選択は正しいですか？ コンピュータ投写時のみ	本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。 🔊対応解像度一覧 p.68 🔊コンピュータの『取扱説明書』など
「 同期 」・「 トラッキング 」は正しく調整されていますか？ コンピュータ、RGBビデオ投写時のみ	リモコンの[自動調整]ボタン、または本体の[決定]ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれない場合は、環境設定メニューの「同期」、「トラッキング」で調整することもできます。🔊 p.11,12

■ 映像が切れる(大きい)、小さい

確認	対処法
アスペクト比 の設定は正しいですか？	リモコンの[リサイズ]ボタンを押してください。🖱️ p.20
Eズーム機能で拡大されたままになっていませんか？	リモコンの[戻る]ボタンを押してEズーム機能を解除します。🖱️ p.21
「表示位置」は正しく調整されていますか？	コンピュータのアナログRGB映像やRGBビデオ映像投写時は、リモコンの[自動調整]ボタン、または本体の[決定]ボタンを押して、自動調整を行います。 自動調整を行っても調整しきれない場合は、環境設定メニューの「表示位置」で調整することもできます。 コンピュータのアナログRGB映像やRGBビデオ映像以外の信号を投写時は、環境設定メニューの「表示位置」で調整します。🖱️「映像」→「表示位置」 p.31
デュアルディスプレイの設定をしていませんか？ コンピュータ投写時のみ	接続しているコンピュータのコントロールパネルの「画面のプロパティ」で、デュアルディスプレイの設定をしていると、プロジェクターでコンピュータ画面の映像が半分くらいしか表示できません。コンピュータ画面の映像をすべて表示する場合は、デュアルディスプレイの設定を解除します。🖱️コンピュータのビデオドライバの『取扱説明書』
解像度の選択は正しいですか？ コンピュータ投写時のみ	本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。 🖱️対応解像度一覧 p.68 🖱️コンピュータの『取扱説明書』など

■ 色合いが違う

確認	対処法
入力信号の設定が接続機器の信号と合っていますか？	コンポジットビデオ 、 S-ビデオ を接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。☛「映像」→「ビデオ信号方式」 p.31
映像の明るさは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「明るさ」を調整してください。☛「画質調整」→「明るさ」 p.30
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛『 セットアップガイド 』
コントラスト は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「コントラスト」を調整してください。☛「画質調整」→「コントラスト」 p.30
適切なカラー調整に設定されていますか？	環境設定メニューの「カラー調整」を調整してください。☛「画質調整」→「カラー調整」 p.30
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ ビデオ機器投写時のみ	環境設定メニューの「色の濃さ」、「色合い」を調整してください。☛「画質調整」→「色の濃さ」、「色合い」 p.30

■ 暗い

確認	対処法
映像の明るさや輝度は正しく設定されていますか？	環境設定メニューの「明るさ」や「輝度切替」を設定してください。 ☛「画質調整」→「明るさ」 p.30 ☛「設定」→「輝度切替」 p.32
コントラスト は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「コントラスト」を調整してください。 ☛「画質調整」→「コントラスト」 p.30
ランプの寿命ではありませんか？	ランプの寿命が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。☛ p.54

■ 外部モニタに表示されない

確認	対処法
コンピュータ端子以外から入力している映像を表示させようとしていませんか？	外部モニタに表示できる映像はコンピュータ端子からの信号のみです。ビデオ機器の映像は、外部モニタに出力できません。☛ p.61

■ 投写開始時のトラブル

■ 電源が入らない

確認	対処法
[電源]ボタンを押しましたか？	[電源]ボタンを押して電源を入れます。
インジケータがすべて消灯していませんか？	電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。本機に電源ケーブルを正しく接続してください。☛『セットアップガイド』または、電気が供給されるようにブレーカなどを確認してください。
電源ケーブルを触ると、インジケータが点いたり消えたりしませんか？	電源ケーブルが接触不良を起こしているか、電源ケーブルが故障している可能性があります。電源ケーブルを差し直してください。それでも直らないときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはプロジェクターインフォメーションセンターにご相談ください。☛p.75

■ その他のトラブル

■ 音が出ない・小さすぎる

確認	対処法
音声入力は正しく接続されていますか？	音声入力端子にケーブルを接続しているか確認してください。
音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。☛p.16
A/Vミュートの状態になっていませんか？	リモコンの[A/Vミュート]ボタンを押してA/Vミュートを解除します。☛p.19
レンズカバーを閉じたままではありませんか？	レンズカバーを開けてください。

■ リモコンで操作できない

確認	対処法
リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。操作可能範囲は、左右約30°、上下約15°です。☛『セットアップガイド』
プロジェクターから離れすぎていませんか？	操作可能距離は、約6mです。☛『セットアップガイド』



確認	対処法
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きにセットします。👉 p.53
リモコンのボタンを30秒間以上押しつづけませんでしたか？	リモコンのボタンが30秒間以上押されたままの状態になっていると、ボタン操作の信号を送信しなくなります(リモコンのスリープモード)。これにより、リモコンが何かの下敷きになっている場合も電池の消耗を減らすことができます。 いったんボタンを離して再度操作してください。

■ メッセージやメニューが日本語で表示されない

確認	対処法
「言語」の設定は正しいですか？	リモコンまたは本体の[ヘルプ]ボタンを押して、ヘルプメニューの一番下の項目を選択して言語の設定を変更してください。👉 p.38



付 録

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くご使用いただくための補足的な知識について説明しています。

本機の設定	51	スクリーンサイズと投写距離	63
• 設置方法	51	用語解説	64
お手入れの方法	52	ESC/VP21 コマンド一覧	66
• 各部の掃除	52	• コマンドリスト	66
• 本体の掃除	52	• ケーブル配線	66
• レンズの掃除	52	• USB 接続	66
• エアーフィルタ・吸気口の掃除	52	• USB 通信の準備	67
• 消耗品の交換	53	対応解像度一覧	68
• リモコンの電池の交換方法	53	• コンピュータ/RGB ビデオ	68
• ランプの交換時期	54	• コンポーネントビデオ	68
• ランプの交換方法	55	• コンポジットビデオ/S-ビデオ	68
• ランプ点灯時間の初期化	57	仕様一覧	69
• エアーフィルタの交換方法	58	• 傾斜角度	69
ユーザーロゴの登録	59	外形寸法図	71
外部モニターで投写映像を確認する(モニター出力)	61	索引	72
オプション品・消耗品一覧	62	お問い合わせ先	75
• オプション品	62		
• 消耗品	62		

設置方法

本機の投写方法は、次の4種類があります。設置場所の条件に合わせて設置してください。

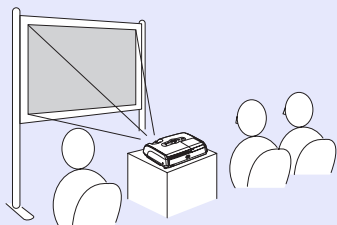
警告

- 天井への取り付け(天吊り設置)工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。
天吊り設置や天吊り金具の調整に際しては、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。

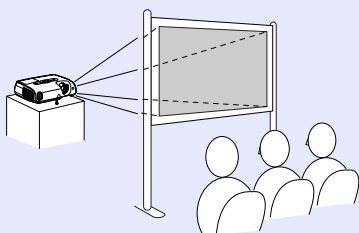
注意

本機を縦置き状態にして投写しないでください。故障の原因となります。

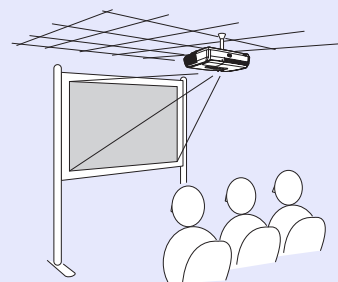
- 正面から投写する(フロント投写)



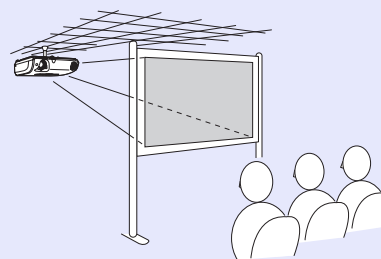
- リアスクリーンへ裏側から投写する(リア投写)



- 天吊りして正面から投写する(フロント・天吊り投写)



- 天吊りしてリアスクリーンへ裏側から投写する(リア・天吊り投写)



- 天吊りするには、オプションの天吊り金具が必要です。

☛ p.62

ポイント

- 天吊りやスクリーンの裏側から投写するときは、環境設定メニューの「拡張設定」→「設置モード」を設置の状態に合わせて変更します。☛ p.33

ここでは、お手入れの方法や消耗品の交換などのメンテナンスについて説明します。

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

■ 本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

■ レンズの掃除

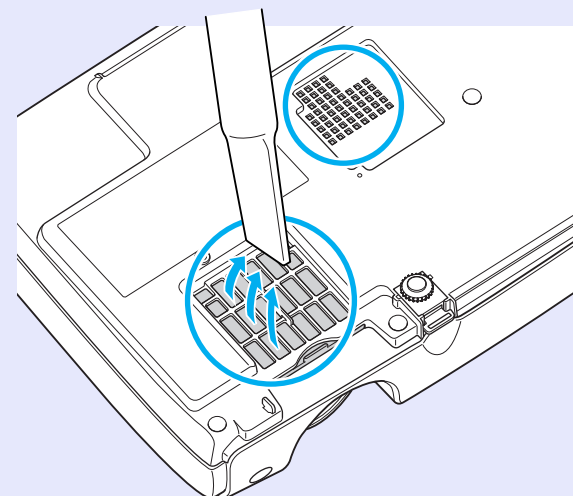
レンズの汚れは、メガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

■ エアーフィルタ・吸気口の掃除

エアーフィルタや吸気口にホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。
約3ヶ月に一度は掃除を行うことをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。



ポイント

エアーフィルタが破れたり、掃除を行ってもメッセージが表示される場合は交換時期です。新しいエアーフィルタに交換してください。➡「エアーフィルタの交換方法」p.58

消耗品の交換

ここでは、リモコンの電池、ランプ、エアーフィルタの交換方法について説明します。

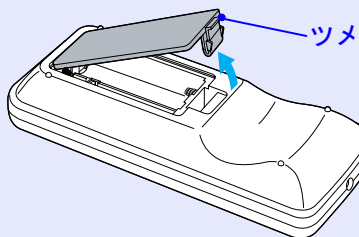
リモコンの電池の交換方法

使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなった場合は電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単4形アルカリ乾電池2本を用意してください。

操作

1 電池カバーを外します。

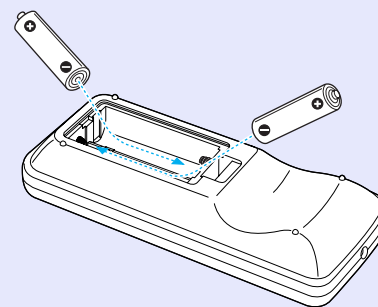
電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。



2 電池をセットします。

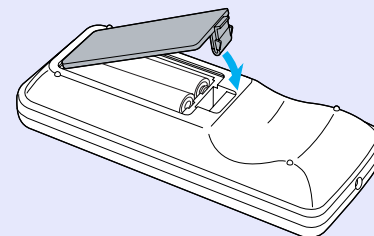
⚠ 注意

電池ホルダ内の表示を確認し、(+) (−) を正しく入れてください。



3 電池カバーを取り付けます。

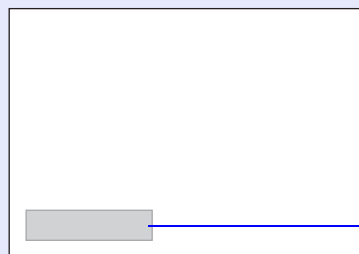
カチッと音がするまでカバーを押し込みます。



ランプの交換時期

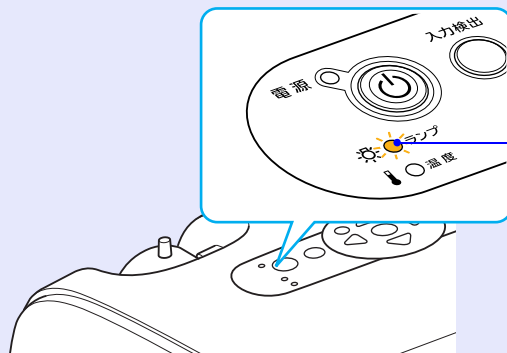
次の場合は、ランプを交換してください。

- 投写を開始したときに「投写ランプを交換してください。」とメッセージが表示されたとき



メッセージが表示されます。

- ランプインジケータがオレンジ色に点滅したとき



オレンジ色に点滅

- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき



ポイント

- 交換メッセージは、初期の明るさや画質を維持するため、次の時間で表示されます。●「輝度切替」p.32
 - ・高輝度で使い続けた場合：約1900時間
 - ・低輝度で使い続けた場合：約2900時間
- 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお奨めします。
- 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソンOAサプライフリーダイヤル(0120)251-528でお買い求めください。

ランプの交換方法

警告

ランプが点灯しなくなり交換する場合は、ランプが割れている可能性があります。
本機を天吊りで使用していてランプ交換を行う場合は、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーをそっと取り外してください。ランプカバーを開ける際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があります。万一、目や口にガラス破片が入った場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

注意

ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。ランプが十分冷えるには、電源を切ってから約1時間必要です。

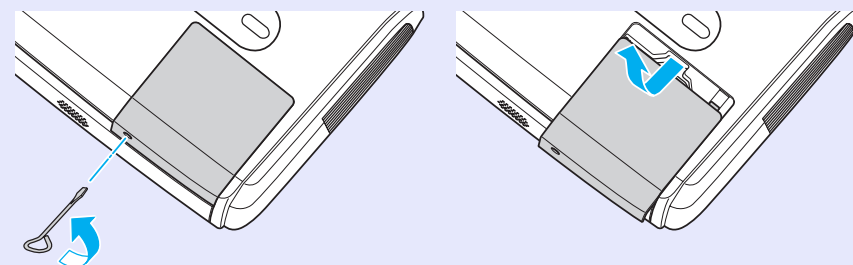
操作

1 本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了確認音が鳴ってから、電源ケーブルを外します。

2

ランプが十分冷えてから、本体上面のランプカバーを外します。

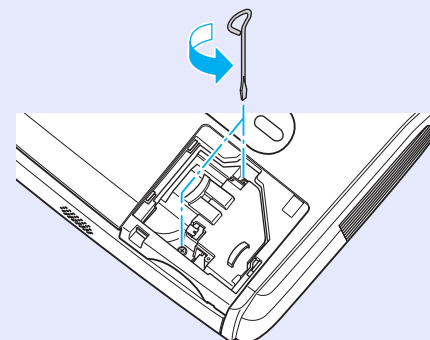
ランプカバー固定ネジを、交換用ランプに同梱のドライバ、または+のドライバでゆるめます。ランプカバーをまっすぐスライドさせて、持ち上げて取り外します。



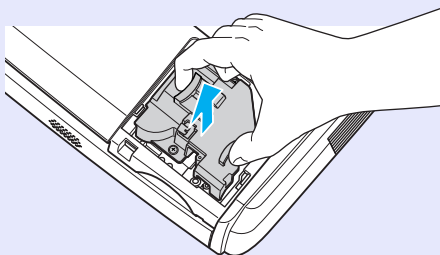
3

ランプ固定ねじ2本をゆるめます。

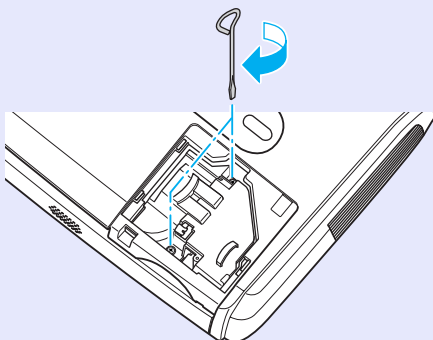
ランプを本体に固定しているランプ固定ねじ2本を、交換用ランプに同梱のドライバ、または+のドライバでゆるめます。



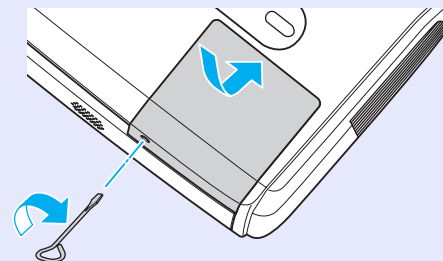
- 4** 古いランプを取り外します。
下図のように、ランプをつまんで引き上げます。
ランプが割れている場合は、お買い上げの販売店、または
エプソンサービスコールセンターにご相談ください。



- 5** 新しいランプを取り付けます。
ランプを収納部の形に合う向きにして押し込み、ランプ
固定ねじ2本を締めます。



- 6** ランプカバーを取り付けます。
ランプカバーをスライドさせ、ランプカバー固定ネジを
締めます。



ポイント

- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だとランプが点灯しません。
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いの場合は、会社の廃棄ルールに従ってください。



ランプ点灯時間の初期化

本機にはランプ点灯時間のカウンタが内蔵されており、カウンタの累積が一定時間に達すると、ランプ交換の表示を行います。したがって、ランプ交換を実施した後は、環境設定メニューでランプ点灯時間のカウンタを初期化する必要があります。



ポイント

ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外は行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

操作

1

電源ケーブルを接続し、本機の電源を入れます。

2

環境設定メニューから「初期化」→「ランプ点灯時間初期化」を選びます。

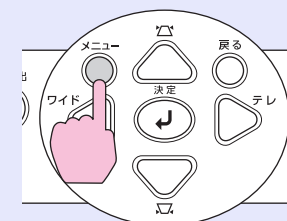
操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。[p.29](#)

使えるボタンと操作は画面下に表示されるガイドでご確認ください。

リモコンの場合



本体の場合



3

「実行します。よろしいですか?」と表示されるので、「はい」を選択します。

ランプ点灯時間が初期化されます。

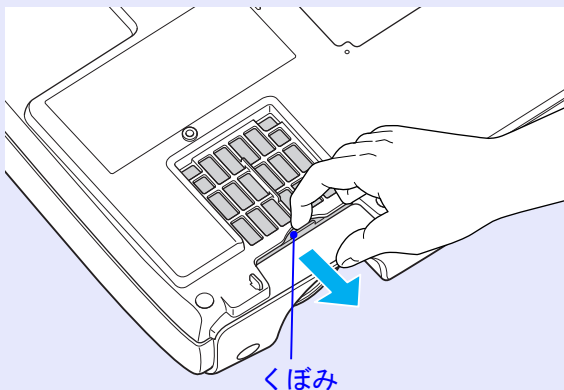
■ エアーフィルタの交換方法

エアーフィルタが破れたり、掃除を行ってもメッセージが表示される場合は交換時期です。
本機を天吊り設置している状態でもエアーフィルタの交換ができます。

操作

① 本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了確認音が鳴ってから、電源ケーブルを外します。

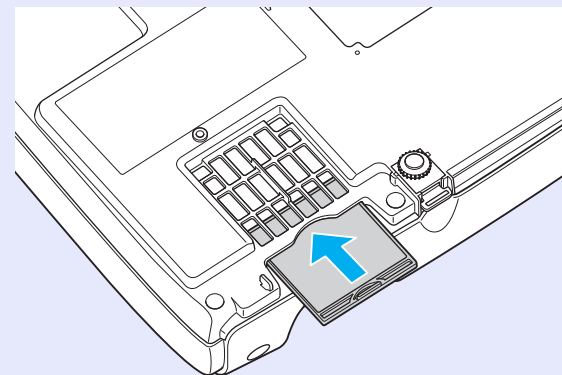
② エアーフィルタを取り外します。
エアーフィルタのくぼみに指をかけて、外側にまっすぐスライドさせます。



③

新しいエアーフィルタを取り付けます。

外側からエアーフィルタをスライドさせて差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。



ポイント

使用済みのエアーフィルタは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いの場合は、会社の廃棄ルールに従ってください。

枠部分の材質：ポリカーボネート、ABS樹脂
フィルタ部分の材質：ポリウレタンフォーム

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。



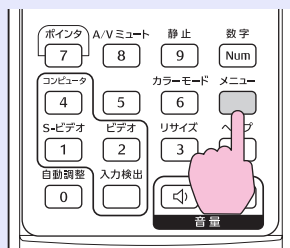
ユーザーロゴの登録を実行すると、現在登録されているユーザーロゴは消去されます。

操作

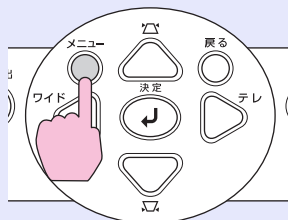
1

ユーザーロゴとして登録したい映像を投写し、環境設定メニューを表示します。

リモコンの場合



本体の場合

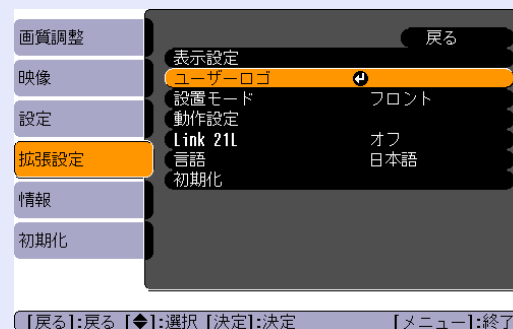


2

環境設定メニューから「拡張設定」→「ユーザーロゴ」を選びます。

操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。👉p.29

使えるボタンと操作は画面下に表示されるガイドでご確認ください。



ポイント

- ・「パスワードプロテクト」で「ユーザーロゴ保護」を「オン」に設定している場合はメッセージが表示され、登録することができません。パスワードプロテクトを解除してから操作してください。👉p.26
- ・台形補正、ズーム調整、Eズームなどを行っている場合、「ユーザーロゴ」を選択すると、実行している機能は解除されます。

3

「現在投写されている映像の一部をユーザーロゴとして使いますか？」と表示されるので、「はい」を選択します。

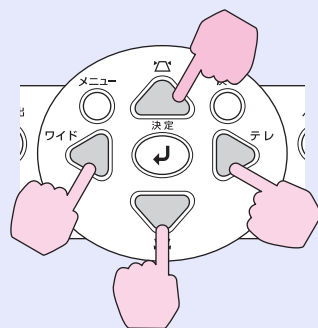
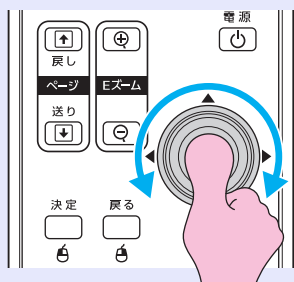


ポイント

リモコンまたは本体の[決定]ボタンを押すと、映像信号の解像度のまま表示されるため、本機のパネル画素数以外の解像度の映像を投写している場合とビデオ映像を投写しているときは、表示サイズが変わります。

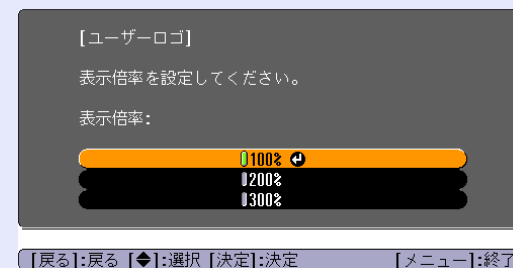


- ④ 登録する映像と選択枠が表示されるので、使う位置を選択します。



- ⑤ 「この映像を使用しますか？」と表示されるので、「はい」を選択します。

- ⑥ 表示倍率設定画面で倍率を選択します。



- ⑦ 「この映像を保存しますか？」とメッセージが表示されるので、「はい」を選択します。

映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーロゴの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。



- 保存にはしばらく時間がかかります(約15秒)。保存している間は、プロジェクターや接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。
- ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。



ポイント

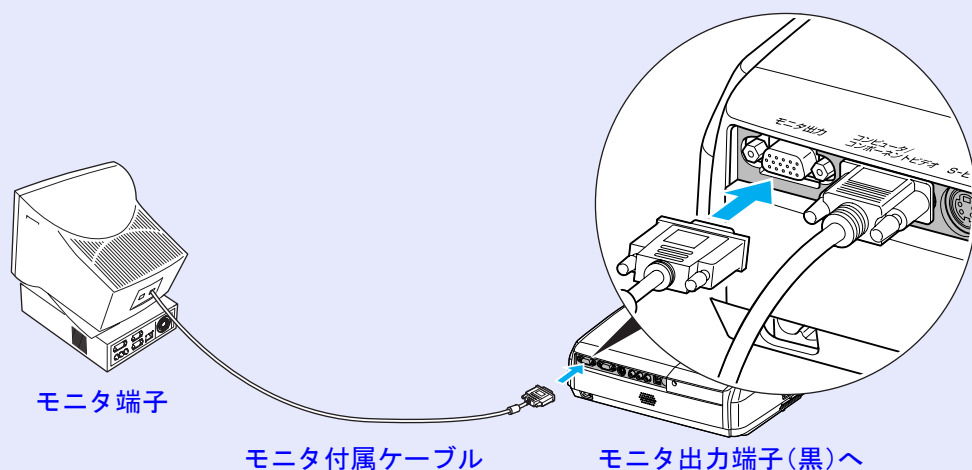
登録できるサイズは400×300ドットです。



外部モニタで投写映像を確認する(モニタ出力)



[コンピュータ/コンポーネント]端子から入力しているコンピュータのアナログRGB映像やRGBビデオ映像を、本機に外部モニタを接続して外部モニタで確認しながらプレゼンテーションなどを行うことができます。



ポイント

- コンポーネントビデオ、S-ビデオ、コンポジットビデオ映像は外部モニタに出力させることはできません。
- 台形補正などの設定ゲージや環境設定メニュー・ヘルプの表示は外部モニタに出力されません。

下記のオプション品・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は2006年6月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

■ オプション品

ソフトキャリングケース ELPKS16B ハンドキャリングするときに使います。
60型スクリーン ELPSC07 80型スクリーン ELPSC08 100型スクリーン ELPSC10 携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比▶4:3)
携帯スクリーン(50型) ELPSC06 持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。(アスペクト比4:3)
コンピュータケーブル ELPKC02 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用1.8m) 製品同梱のコンピュータケーブルと同等品です。
コンピュータケーブル ELPKC09 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用3m) コンピュータケーブル ELPKC10 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用20m) 製品同梱のコンピュータケーブルでは短いときの延長ケーブルです。
D端子ケーブル ELPKC22 (ミニD-Sub 15pin/D端子用3m) BSデジタル放送チューナと接続するときに使います。
コンポーネントビデオケーブル ELPKC19 (ミニD-Sub 15pin/RCAオス×3用3m) コンポーネントビデオ▶ を投写するときに使います。
マルチメディアビューワー ELPDC05 書籍やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。

天井プレート※ ELPFC03 パイプ370 (370mm シルバー)※ ELPFP04 パイプ570 (570mm シルバー)※ ELPFP05 パイプ770 (770mm シルバー)※ ELPFP06 高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。

天吊り金具※ ELPMB18 本機を天井に取り付けるときに使います。

※ 天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。

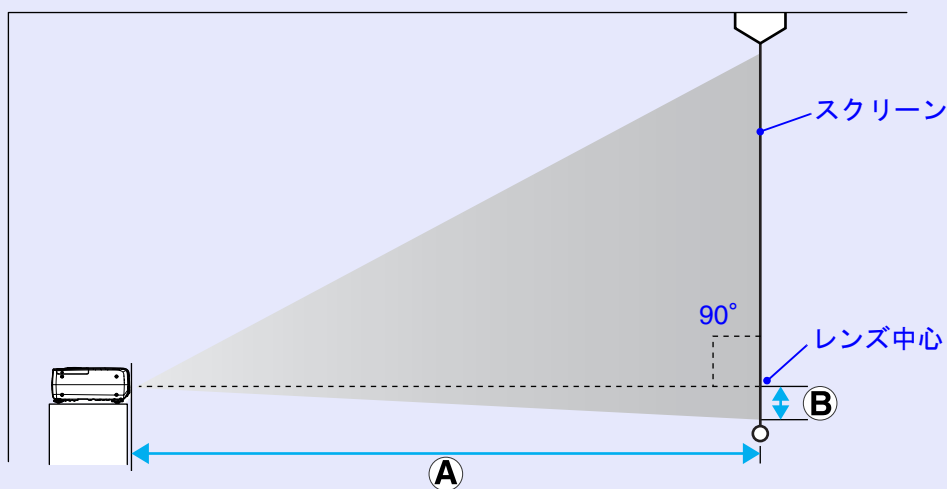
■ 消耗品

交換用ランプ ELPLP36 使用済みランプと交換します。
エアークリスタルセット ELPAP08 (2枚入り) 使用済みエアークリスタルと交換します。

下表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさに映るように設置してください。値は目安です。

単位:cm

4:3スクリーンサイズ		投写距離A	レンズ中心からスクリーン下端までの高さB
		最短 (ズーム調整ワイド)～最長 (ズーム調整テレ)	最短 (ズーム調整ワイド)～最長 (ズーム調整テレ)
30型	61 × 46	87～119	4～-2
40型	81 × 61	117～159	6～-3
50型	100 × 76	147～200	7～-4
60型	120 × 90	177～240	9～-4
80型	160 × 120	237～321	12～-6
100型	200 × 150	297～402	14～-7
120型	240 × 180	357～483	17～-9
150型	300 × 230	447～605	22～-11
200型	410 × 300	597～807	29～-15
300型	610 × 460	897～1212	43～-22



本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細に付いては市販の書籍などを利用してください。

EMP Link21L	本機をコンピュータと接続して、コンピュータから本機の制御を行うユーティリティソフトです。ご提供方法やソフトの詳細についてはエプソンのホームページをご覧ください。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 • 垂直解像度750p、1125i以上 (pはプログレッシブ走査、iはインタレース走査) • 画面のアスペクト比は16:9 • ドルビーデジタル音声の受信、再生(あるいは出力)
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、 HDTV の条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。
S-ビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 Y(輝度信号)C(色信号)の2つの独立した信号からできている映像をいいます。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピュータのオペレーティングシステム(OS)やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGBに設定して使用します。
SVGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横800ドット×縦600ドットのことを呼びます。
SXGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1280ドット×縦1024ドットのことを呼びます。
USB	Universal Serial Busの略で、比較的低速な周辺機器とパソコン間を接続するためのインターフェイスです。
VGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横640ドット×縦480ドットのことを呼びます。
XGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1024ドット×縦768ドットのことを呼びます。
アスペクト比	画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が16:9と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクト比は4:3です。
インタレース	1つの画面を表示するときに情報を横方向に細かい線に分け、左から右へ、上から下へ順次表示させます。このとき偶数線分と奇数線分を交互に表示する方法をいいます。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
コンポーネントビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 ハイビジョンにおいて、Y(輝度信号)Pb、Pr(色差信号)の3つの独立した信号からできている映像をいいます。
コンポジットビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号(NTSC、PAL、SECAM)です。 カラーバー信号の中の伝送用信号Y(輝度信号)とクロマ(色)信号を重ねて1つの信号にしています。



スクイーズモード	16:9の横長ワイド映像を水平方向に圧縮して、4:3の映像としてビデオソフトに収録する方法です。本機のスクイーズモードを使って投写すると、元の16:9のワイド映像に戻ります。
色温度	光を発する物体の温度をいいます。色温度が高いと青みがかかった色合いになり、色温度が低いと赤みがかかった色合いになります。
同期 (Sync.)	コンピュータやRGBビデオから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
盗難防止用ロック	プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定できます。 KENSINGTON 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本正規輸入代理店の連絡先は、以下のとおりです。 七陽商事株式会社 情報機器事業部 〒103-0007東京都中央区日本橋浜町2-55-7(ナナヨービル) Tel:03-3663-7787 Fax:03-3669-2367
トラッキング	コンピュータやRGBビデオから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
ドルビーデジタル	ドルビー研究所で開発されたサウンド方式です。通常のスtereoは2つのスピーカを用いた2ch方式ですが、ドルビーデジタルは、それにセンタースピーカ、リア2chスピーカ、サブウーファを追加した6ch(5.1ch)方式となっています。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を上から下へ順次走らせて一画面を構成する方式をいいます。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で設定します。

コマンドリスト

プロジェクターに電源ONのコマンドを送信すると、電源がONになり、プロジェクターがウォームアップ状態になります。電源ONの状態になったときにコロン‘:’ (3Ah)を返信します。

プロジェクターはコマンドを実行後、‘:’を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了の場合は、エラーメッセージを出力した後に‘:’を返信します。

項 目		コマンド
電源のオン/オフ	オン	PWR ON
	オフ	PWR OFF
信号切り替え	コンピュータ (オート)	SOURCE 1F
	コンピュータ	SOURCE 11
	コンポーネントビデオ	SOURCE 14
	ビデオ	SOURCE 41
	S-ビデオ	SOURCE 42
A/Vミュート機能のオン/オフ	オン	MUTE ON
	オフ	MUTE OFF
A/Vミュート機能の切り替え	黒	MSEL 00
	青	MSEL 01
	ロゴ	MSEL 02

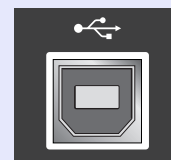
※ 各コマンドの最後に、復帰(CR)コード(0Dh)を追加して送信してください。

ケーブル配線

USB接続

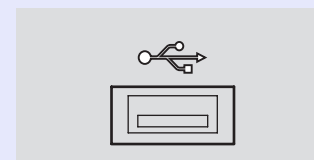
コネクタ形状:USB (Bタイプ)

<プロジェクター側>



(Bタイプ)

<コンピュータ側>



USB通信の準備

USB接続による通信で本機をESC/VP21コマンドで制御するには、事前に次の準備が必要です。

注意

「ピッピッ」と終了確認音が鳴る前に電源ケーブルを抜いた場合は、通信ポートの変更は行われません。

操作

- 1 エプソンのホームページからお使いのコンピュータに「USB通信ドライバ(USB-COM Driver)」をダウンロードします。

URLは下記のとおりです。

<http://www.epson.jp/products/download/elp/menu.htm>

- 2 お使いのコンピュータにそのUSB通信ドライバをインストールします。

ダウンロード画面の注意事項をお読みください。

- 3 本機の環境設定メニューで「拡張設定」→「Link21L」を「オン」に設定します。「オン」に設定しないと、USB接続による通信ができません。

- 4 本機の電源を切ります。

- 5 「ピッピッ」と終了確認音が鳴った後、本機の電源を入れます。

本機の電源を入れ直した以降、USB接続による通信が可能になります。

コンピュータ/RGBビデオ

信号	リフレッシュレート [※] (Hz)	解像度 (ドット)	使用画素数 ^{※2} (ドット)
VGA[※]	60	640×480	800×600
VGAEGA		640×350	800×438
VESA	60/72/75/85,iMac ^{※1}	640×480	800×600
SVGA[※]	56/60/72/75/85,iMac ^{※1}	800×600	800×600
XGA[※]	60/70/75/85,iMac ^{※1}	1024×768	800×600
SXGA[※]	70	1152×864	800×600
SXGA	60	1280×960	800×600
SXGA	60	1280×1024	750×600
MAC13"		640×480	800×600
MAC16"		832×624	800×600
MAC19"		1024×768	800×600
MAC19"	60	1024×768	800×600
MAC21"		1152×870	794×600
SDTV[※] (625i)	50	720×576	800×600
SDTV (525i)	60	720×480	800×600
SDTV (525p)	60	640×480	800×600
HDTV[※] (750p)	60	1280×720	800×450
HDTV (1125i)	60	1920×1080	800×450

※1 VGA出力ポートが装着されていない機種には接続できません。

※2 ズーム最大時の値です。

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写することがあります。
ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

コンポーネントビデオ

信号	リフレッシュレート [※] (Hz)	使用画素数(ドット) ^{※2}	
		アスペクト比[※] 4:3	アスペクト比 16:9
SDTV[※] (525i) (D1)	60	800×600	800×450
SDTV (625i)	50	800×600	800×450
SDTV (525p) (D2)	60	800×600	800×450
HDTV[※] (750p) 16:9 (D4)	60	800×600	800×450
HDTV (1125i) 16:9 (D3)	60	800×600	800×450

コンポジットビデオ/S-ビデオ

信号	リフレッシュレート [※] (Hz)	使用画素数(ドット) ^{※2}	
		アスペクト比[※] 4:3	アスペクト比 16:9
TV (NTSC)	60	800×600	800×450
TV (PAL,SECAM)	50	800×600	800×450

商品名	EMP-S4		
外形寸法	幅327×高さ87×奥行き247mm(フット含まず)		
パネルサイズ	0.5型		
表示方式	ポリシリコンTFTアクティブマトリクス		
画素数	SVGA▶ 480,000 個 (横 800 × 縦 600 ドット) × 3		
フォーカス調整	手動		
ズーム調整	電子式(約1:1.35)		
ランプ(光源)	UHEランプ 定格170W 型番:ELPLP36		
音声最大出力	1Wモノラル		
スピーカ	1個		
電源	100-240V±10%、50/60Hz AC 定格消費電力250W 待機時消費電力:5W (100V時)		
動作高度	標高0～2286m		
使用温度範囲	+5～+35℃(結露しないこと)		
保存温度範囲	-10～+60℃(結露しないこと)		
質量	約2.6kg		
接続端子	コンピュータ端子	1系統	ミニD-Sub 15pin (メス) 青
	S-ビデオ端子	1系統	ミニDIN 4pin
	ビデオ端子	1系統	RCAピンジャック
	音声入力端子	1系統	RCAピンジャック ×2(L,R)
	USB端子※	1系統	USBコネクタ (Bタイプ)
	モニタ出力端子	1系統	ミニD-Sub 15Pin (メス) 黒

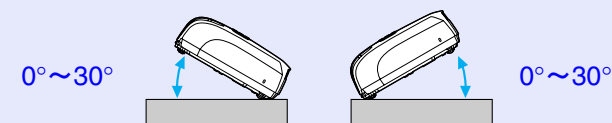
※ USB 1.1に対応しています。

USB端子は、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。



本機にはPixelworks DNX™のICが搭載されています。

傾斜角度



30° 以上傾けて使用すると、故障や事故の原因となります。

Safety

USA
UL60950-1

Canada
CSA C22.2 No.60950-1

EU
The Low Voltage Directive
(73/23/EEC)
IEC/EN60950-1

EMC

USA
FCC Part 15B Class B (DoC)

Canada
ICES-003 Class B

EU
The EMC Directive
(89/336/EEC)
EN55022, Class B
EN55024
IEC/EN61000-3-2
IEC/EN61000-3-3

Australia/New Zealand
AS/NZS CISPR 22:2002 Class B

DECLARATION of CONFORMITY

According to 47CFR, Part 2 and 15
Class B Personal Computers and Peripherals; and/or
CPU Boards and Power Supplies used with Class B
Personal Computers

We :EPSON AMERICA, INC.
Located at :3840 Kilroy Airport Way
MS: 3-13
Long Beach, CA 90806
Tel :562-290-5254

Declare under sole responsibility that the product identified herein, complies with 47CFR Part 2 and 15 of the FCC rules as a Class B digital device. Each product marketed, is identical to the representative unit tested and found to be compliant with the standards. Records maintained continue to reflect the equipment being produced can be expected to be within the variation accepted, due to quantity production and testing on a statistical basis as required by 47CFR 2.909. Operation is subject to the following two conditions : (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Trade Name :EPSON

Type of Product :Projector

Model :EMP-S4

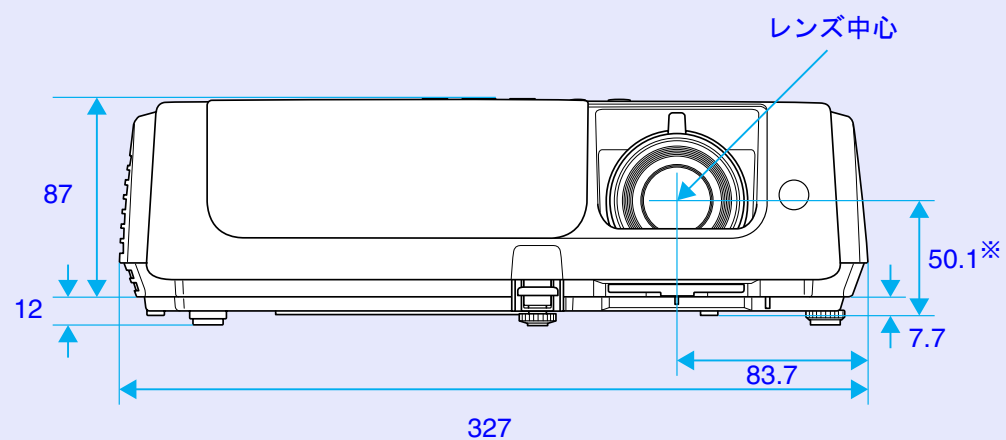
**FCC Compliance Statement
For United States Users**

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio or television reception. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause interference to radio and television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures.

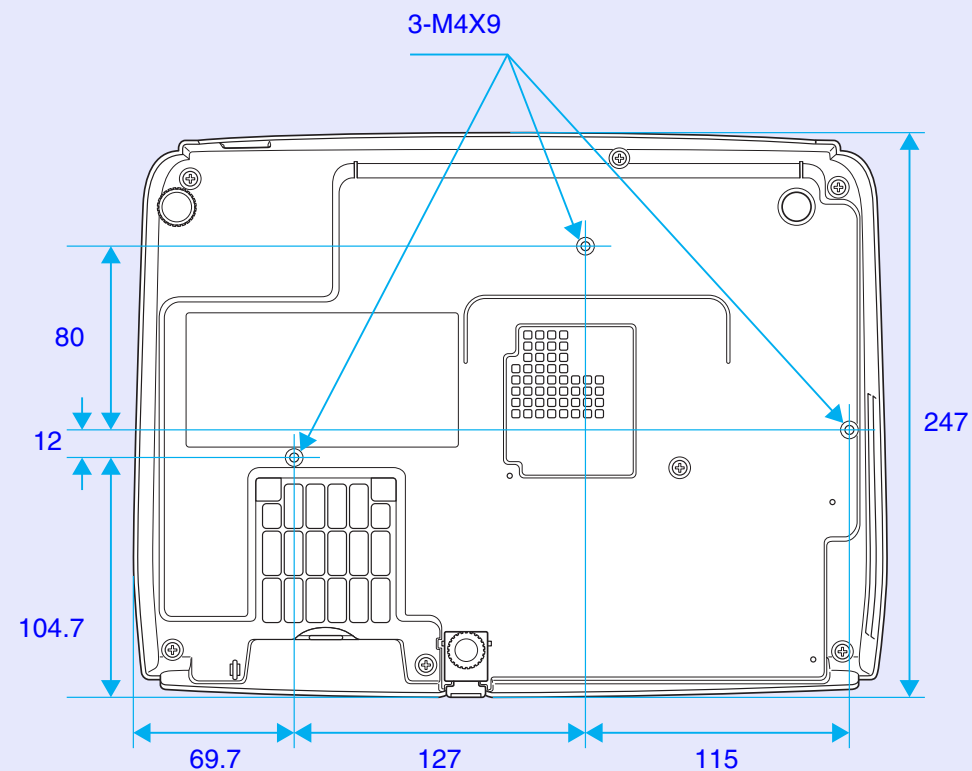
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING

The connection of a non-shielded equipment interface cable to this equipment will invalidate the FCC Certification or Declaration of this device and may cause interference levels which exceed the limits established by the FCC for this equipment. It is the responsibility of the user to obtain and use a shielded equipment interface cable with this device. If this equipment has more than one interface connector, do not leave cables connected to unused interfaces. Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.



※レンズ中心から天吊固定部までの寸法



単位:mm

数字・アルファベット

A/Vミュート	19, 33
ESC/VP21	66
Eズーム	21
HDTV	68
Link 21L	34
sRGB	14
S-ビデオ端子	7
USB端子	7
USB通信	67

ア

明るさ	30
アスペクト比	20
色合い	30
色温度	30
色の濃さ	30
インジケータ	39
エアークフィルタ	8
エアークフィルタの交換方法	58
エアークフィルタの掃除	52
映像メニュー	31
オーバーヒート	40
オプション品	62
音声入力端子	7
温度インジケータ	41
音量	16, 32

カ

解像度	68
拡張設定メニュー	33
各部の名称と働き	5
画質調整メニュー	30
カラーモード	14, 30
環境設定メニュー	29
輝度切替	32
吸気口	8
傾斜角度	69
言語	34
高地モード	34
黒板	14
故障かなと思ったら	39
コントラスト	30
コンピュータ入力	31
コンピュータ端子	7

サ

サブメニュー	29
シアター	14
自動調整	11, 31
シャープネス	30
仕様一覧	69
使用温度範囲	69
情報メニュー	35
消耗品	62

初期化メニュー	36
ズーム	32
スクイーズモード	20
スタートアップスクリーン	33
スピーカ	7
スポーツ	14
スライド式レンズカバー	5
スリープモード	34
静止	19
接続端子	7
設置方法	51
設置モード	33
設定メニュー	32
全初期化	36
操作パネル	6
操作ボタンロック	26, 32

タ

ターゲットスコープ	21
対応解像度	68
台形補正	32
ダイレクトパワーオン	34
低輝度	32
デジタルピクチャシフト	15, 32
テンキー	9
電源インジケータ	39
電源端子	7



電源投入時	24
電池の交換方法	53
天吊固定部	8, 71
問い合わせコード	24
同期(Sync.)	11, 31
同期情報	35
動作設定	34
盗難防止用ロック	5
トップメニュー	29
トラッキング	11, 31

ナ

入力解像度	35
入力検出	6, 9, 17
入力信号	35
入力ソース	35

ハ

排気口	5
背景表示	33
パスワードプロテクト	24
パスワードプロテクトシール	25
ビデオ信号方式	31, 35
ビデオ端子	7
表示位置	11, 31
表示設定	33
フォーカスリング	5

フォト	14
プレゼンテーション	14
プログレッシブ変換	31
フロントフット	5
ヘルプ機能	38
ポインタ	20
ポインタ形状	32
保存温度範囲	69
本体の掃除	52

マ

マウスポインタ	23
メッセージ表示	33
メニュー	29
モニタ出力端子	7

ヤ

ユーザーロゴ	59
ユーザーロゴ保護	25
用語解説	64

ラ

ランプインジケータ	41
ランプカバー	5
ランプ点灯時間	35
ランプ点灯時間の初期化	36, 57
ランプの交換時期	54

ランプの交換方法	55
リアスクリーン	51
リアフット	7
リフレッシュレート	35
リモコン	9, 22
リモコン受光部	5, 7
リモコン発光部	9
レンズの掃除	52

ワ

ワイドサイズの映像	20
ワイヤレスマウス機能	22



ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様にに基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

電源高調波について

この装置は、JIS C 61000-3-2「高調波電流発生限度値」に適合しております。

商標について

IBM、DOS/V、XGA は、International Business Machines Corp. の商標または登録商標です。

Macintosh、Mac、iMac は、Apple Computer Inc. の登録商標です。

Windows、Windows NT、VGA は米国マイクロソフト社の商標または登録商標です。

ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。

Pixelworks、DNX は Pixelworks 社の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

EPSON

●エプソンのホームページ <http://www.epson.jp>

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひ活用ください。

FAQ <http://www.epson.jp/faq/>

●プロジェクトインフォメーションセンター 製品の操作方法・お取り扱い等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。

 **0570-004110** 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00 (祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ(株)の電話サービスの名称です。

*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(0263) 54-5800までお電話ください。

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日 (祝日・弊社指定休日を除く)

上記電話番号はKDDI株式会社の電話サービス **KDDI ダイヤル** を利用しています。

なお、下記のように一部ご利用いただけない場合もございます。

*一部のPHSからおかけいただく場合

*一部のIP電話事業者からおかけいただく場合

(ご利用の可否はIP電話事業者間の接続状況によります。上記番号への接続可否についてはご契約されているIP電話事業者へお問い合わせください。)

上記番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、(042) 511-2949におかけくださいますようお願いいたします。

また、ご利用の通話料金は、ご契約されている通信事業者からの請求に、KDDIからの請求が追加されます。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所 在 地	T E L
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス(株)	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30 (祝日・弊社指定休日を除く)

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

*修理について詳しくは、エプソンサービス(株)ホームページ <http://www.epson-service.co.jp> でご確認ください。

●ドアtoドアサービス(修理品有償ピックアップサービス)に関するお問い合わせ先

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話  **0570-090-090** 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30 (祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ(株)の電話サービスの名称です。

*新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	T E L	受付拠点	引き取り地域	T E L
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州(中国地方を除く)	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30 (祝日・弊社指定休日を除く) *松本修理センターは365日受付可。

*平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通諏訪支店で代行いたします。*ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス(株)ホームページ <http://www.epson-service.co.jp> でご確認ください。

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認ください。 <http://www.epson.jp/showroom/>

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30 (祝日・弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30 (祝日・弊社指定休日を除く)

●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。

さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

<http://myepson.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ(ホームページアドレス <http://epson-supply.jp>

またはフリーコール 0120-251528)でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5